

普通の話ならば、少し位不十分な點があつても、前後の關係からして、意味を了得するここが出来るが、數詞に至つてはさうは往かぬ。一を二と間違へても大變な過ちを來たすことになるのだから、數詞は特に適確に明瞭に覺えて置かねばならぬのである。數詞に伴つて必要なのは助數詞である、左に其の使用の實例を示す。

종이를, 몇장\*가\*키오\*릿가

紙を何枚持つて參りませうか

산양\*가\*치, 꿩\*두\*마\*리\*와, 뚝\*기\*세

獵に行つて雉子二羽と兎三疋捕つて參りました

마\*리\*를, 잡\*어\*왔\*소

소\*한\*필\*에, 감\*시\*얼\*마\*나\*하\*오

牛一匹の値段が幾ら位しますか

이\*골\*목\*을\*들\*어\*가\*치, 모\*퉁\*이\*에\*치,

この路地をはいつて角から二軒目の家です

들\*지\*집\*이\*오

또\*한\*번, 읽\*어\*보\*아\*라

も一度讀んで見ろ

實例は際限がないから、此位でやめて、左に助數詞中比較的通俗のものを少し擧げて置くことにしよう。(便宜上「一」を附して示す)

한 권 (卷) 一冊

한 단 一束

한 기 (個) 一個

한 벌 一襲 (衣服)

한 잔 (盞) 一杯 (盃)

한 짚신 一足 (履物)

한 그릇 一杯 (器)

한 갑 (匣) 一箱

張\*  
마\*리\*는 鳥獸と  
もに用ふ

필\* (匹) は牛馬  
に限り用ふ

番\*

\*一間は疊約二枚半位の廣さにて温突の面積を數ふる單位なり

호스루	一本(筆等)	호살	一歲
호마디	一句、一節	호칭(丁)	一丁(墨)
호쥬(株)	一本(樹木)	호출	一行、一筋
호근디	一個所	호번(番)	一回、一度
호근(斤)	一斤	호길	一尋
호치	一輛	호간(間)	*一間
호자	一尺	호마리	一匹、一羽、一頭
호치	一寸	호필(匹)	一匹(牛馬)
호푼	一分	호섬	一石、一俵
호말	一斗	백냥중(百兩重)	一貫
호되	一升	호냥중(一兩重)	十匁
호홉	一合	호동중	一匁

## 第十章 接頭語と接尾語

國語の『<sup>○</sup>迷<sup>○</sup>ふ、<sup>○</sup>た<sup>○</sup>易<sup>○</sup>し、<sup>○</sup>ま<sup>○</sup>心<sup>○</sup>、<sup>○</sup>す<sup>○</sup>顔』等に於ける<sup>○</sup>さ、<sup>○</sup>た、<sup>○</sup>ま、<sup>○</sup>す<sup>○</sup>な<sup>○</sup>ご<sup>○</sup>の接頭語及び『<sup>○</sup>幾<sup>○</sup>ら、<sup>○</sup>重<sup>○</sup>さ、<sup>○</sup>明<sup>○</sup>る<sup>○</sup>み』等に於ける<sup>○</sup>ら、<sup>○</sup>さ、<sup>○</sup>み<sup>○</sup>な<sup>○</sup>ご<sup>○</sup>の接尾語に對し、朝鮮語にも此の種の詞がある。

接頭語・接尾語は、その詞自身は何等意味をなさぬが、或は他語の頭に冠し、或は尾に添へて其

の意味を強め、又は或る意味を加ふること、國語も朝鮮語も變りはない。

一、先づ接頭語の二三に就き、其の用例を示す。

첫지<sup>○</sup>에, 들어<sup>○</sup>갔소

最初に這入つて往きました

도둑<sup>○</sup>놈을<sup>○</sup>붓<sup>○</sup>잡고, 옥<sup>○</sup>에<sup>○</sup>가<sup>○</sup>두었소

泥棒をふんづかまへて牢にほうり込みました

옛<sup>○</sup>적<sup>○</sup>에, 한<sup>○</sup>농<sup>○</sup>부<sup>○</sup>가<sup>○</sup>잇<sup>○</sup>섯<sup>○</sup>습<sup>○</sup>니다

昔一人の農夫がありました

무<sup>○</sup>슨, 별<sup>○</sup>소<sup>○</sup>문이<sup>○</sup>업<sup>○</sup>습<sup>○</sup>니다

何か變つた噂はありませんか

셔<sup>○</sup>옷<sup>○</sup>을<sup>○</sup>납<sup>○</sup>고, 단<sup>○</sup>장<sup>○</sup>을<sup>○</sup>잘<sup>○</sup>히<sup>○</sup>었<sup>○</sup>소

新しい着物を着て奇麗に化粧しました

꽃<sup>○</sup>빛<sup>○</sup>치, 싹<sup>○</sup>싹<sup>○</sup>았다

花の色が眞赤だ

얼<sup>○</sup>굴<sup>○</sup>이, 싹<sup>○</sup>싹<sup>○</sup>았다

顔が眞つ黒だ

二、次ぎに、接尾語の二三に就いて、同じく其の用例を示す。

연<sup>○</sup>케<sup>○</sup>옵, 맞<sup>○</sup>치<sup>○</sup>겻<sup>○</sup>습<sup>○</sup>니다

いつ頃濟みますでせうか

오<sup>○</sup>래<sup>○</sup>간<sup>○</sup>만<sup>○</sup>이<sup>○</sup>올<sup>○</sup>시다

お久し振りですね

십<sup>○</sup>년<sup>○</sup>만<sup>○</sup>에<sup>○</sup>맞<sup>○</sup>났<sup>○</sup>소

十年振りで會ひました

이<sup>○</sup>만<sup>○</sup>큼<sup>○</sup>잇<sup>○</sup>스<sup>○</sup>면, 녀<sup>○</sup>녀<sup>○</sup>하<sup>○</sup>겻<sup>○</sup>소

これだけあつたら充分でせう

지<sup>○</sup>산<sup>○</sup>이, 만<sup>○</sup>원<sup>○</sup>가<sup>○</sup>량<sup>○</sup>은<sup>○</sup>잇<sup>○</sup>지<sup>○</sup>오

財産が一萬圓程はありませう

동<sup>○</sup>쪽<sup>○</sup>을<sup>○</sup>향<sup>○</sup>하<sup>○</sup>야<sup>○</sup>쉬<sup>○</sup>면, 올<sup>○</sup>편<sup>○</sup>은<sup>○</sup>남<sup>○</sup>이

東方に向つて立つと右方が南で左方が北であります

오, 왼<sup>○</sup>편<sup>○</sup>은<sup>○</sup>남<sup>○</sup>이<sup>○</sup>오

向\* 假\*  
量

間\*

丹\* 別\*  
粧 所聞

獄\*

마음껏 먹었소

思ふ存分食ひました

힘껏 잡아 맨것소

力一杯引張りました

피투성이가 되었소

血だらけになりました

잠자리로구나

寢坊だな

次に、것こ이ふ語は『もの』或は『こ』の意であるが、單獨には決して用ゐられず、必ず指示代名詞・形容詞・動詞等に連なつて用ゐられるので、接尾語こと同様に取扱つても差支ないと思ふ。

이것이, 연필이오

このもの(これ)は鉛筆です

그것은, 이 커버렸소

そのこ(それ)は忘れました

큰것을, 주시오

大きいもの(大きいの)を下さい

붉은것은, 꽃치오

赤いもの(赤いの)は花です

먹을것은, 다치려노왔소

食べるものはすつかり用意して置きました

이러케하는것이, 을소

かうするこが正しいです

것こと同じ形式に用ゐられる言葉に、다위이ふのがある。これは種類、型なごの意味で、것こと同じく單獨に用ゐられるこなく、必ず指示代名詞の이、그、의の接尾語こして用ゐられる。

그다위중하는, 갑시만습니다

その手の紙は値が高う御座います

이다위모자가, 지금시체을시다

こんな型の帽子が此頃の流行で御座います

この外질、군、기なごの接尾語を他語に添へるこ、如何なる意味に轉化するかを左に示さう。



第十章 接頭語と接尾語

비 (舟) . . . . . 비질

舟を漕ぐこと

자 (尺) . . . . . 자질

尺ではかること

낙시 (釣針) . . . . . 낙시질

釣り

도적 (盜賊) . . . . . 도적질

盜み

가리 (鋤) . . . . . 가리질

鋤を使ふこと

걸네 (雜巾) . . . . . 걸네질

拭掃除

나무 (木) . . . . . 나무군

樵夫

지키 (負機) . . . . . 지키군

負機人夫

:일 (仕事) . . . . . :일 군

勞働者

인력거 (人力車) . . . . . 인력거군

車夫

산양 (獵) . . . . . 산양군

獵師

높 (高) . . . . . \*높 기

高さ

무겁 (重) . . . . . 무겁 기

重さ

:깊 (深) . . . . . :깊 기

深さ

크 (大) . . . . . 크 기

大きさ

\*나무와 다른  
音も同様に  
なり

\*第二章第二節  
第二項参照

# 第十一章 高字と音便

## 第一節 高字

朝鮮語にはぎゞス(高字)と稱へて、發音の際殊更音を延ばし、又は音を轉化させて發する詞がある。之に對し、綴字通りの發音を爲すものを나르스(低字)と謂つて居る。音を延ばして發音するものは、例へば左の如きものである。

:발 (簾)

發音パール

:돈 (錢)

發音トーン

:고시 (告示)

發音コーシ

:사별 (死別)

發音サービョル

これをパール、トンなごご發音しては意味が通じなくなる。次に音を轉化せしめて發するものは、例へば左の如きものである。

:별 (星)

:널 (板)

:현지 (現在)

:거동 (舉動)

音の轉訛するのは、右の例の如く<sup>イ</sup>の場合に限るが、この發音は餘程むつかしい。即ち<sup>イ</sup>の中間の音、<sup>一</sup><sup>イ</sup>の中間の音でも謂ふより外はない。高字は名詞に限らず、働詞や形容詞にも澤山ある、漢字の音には殊に多い。本書中特に注意すべき高字は、左側に<sup>：</sup>を附して明かにして置いた。之は單に發音上の注意までに附した符號に過ぎないのだから、普通書く場合には別に之を附する必要はない。

文字で書けば相互同じでも、低字即ち普通の發音をするものと、高字<sup>：</sup>を嚴格に區別しない<sup>：</sup>、飛んだ間違を起すことになる。例へば同じく<sup>：</sup>でも、單に<sup>：</sup>を發音すれば足の意<sup>：</sup>なり、<sup>：</sup>を發音すれば<sup>すだれ</sup>の意<sup>：</sup>なるが如く、兩者間發音の區別は、決して等閑に附することが出来るのである。

左に同じ綴字でありながら、如上發音の區別によつて、如何に意味の差異を生ずるか若干の例を示して置かう。

(低字)

눈	나	섬	벌	밤	밭
眼	我	俵	罰	夜	足

(高字)

:눈	:나	:섬	:벌	:밤	:밭
雪	年齢	島	蜂	栗	簾

말	馬	말	話・言葉
간 다	往く	:간 다	耕す・磨る
산 다	買ふ	:산 다	住む・活く
것는 다	捲く	:것는 다	歩む
업 다	負ふ	:업 다	無し
났 다	出た・低い	:났 다	優る・癒ゆる
경 성	京城	:경 성	鏡城
장 소	商賣	:장 소	葬式

高字でも、他の名詞の下に連なるときは、低字と同様綴字通りの發音となる。即ち、**밤**(栗)、**말**(言語)の如き高字でも、**항밤**(勝ち栗)、**조선말**(朝鮮語)の如くなつた場合は、**パール**、**マール**と長音には發音しないのである。

### 第二節 音 便

發音を容易ならしめ、語調をなだらかにする便宜上からして、其の音を適當に變化せしむるこゝが朝鮮語には頗る多い。言葉を流暢に發音するには、斯うした音の變化―發音上の技巧―即ち音便に注意せねばならぬ。

左に音便の主なもの(中には嚴格に謂へば所謂音便と謂ふに當らぬものもあらうが)に就き、實

例を示して一々説明することにする。

一、終聲と母字との關係

或る語の語尾となるㄱ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㄱ、口、日、人、○の七字を終聲と稱ふることは、第一章第四節で説いた。この終聲を有する語が、母字を以て始まる語に連なるときは、その終聲と母字とが結合して一音を形成する。即ち左の例に見るが如く、上欄の様な文が、實際發音される場合は、下欄の様になるのである。

산양<sup>○</sup>단<sup>△</sup>이, 총<sup>○</sup>을<sup>△</sup>낚<sup>△</sup>코, 식<sup>○</sup>를<sup>△</sup>삼<sup>○</sup>았<sup>○</sup>소

獵師が鐵鉋をうつつて鳥を捕りました

바람<sup>○</sup>이<sup>△</sup>불<sup>○</sup>어, 바다<sup>○</sup>에, 물<sup>○</sup>결<sup>○</sup>이<sup>△</sup>날<sup>○</sup>어<sup>△</sup>나<sup>○</sup>오

風が吹いて海に波が立ちます

양복<sup>○</sup>을<sup>○</sup>입<sup>○</sup>으면, 갓<sup>○</sup>을<sup>○</sup>못<sup>○</sup>쓰<sup>○</sup>오

洋服を着たら冠はかぶれません

사냥<sup>○</sup>꾸<sup>△</sup>니, 총<sup>○</sup>을<sup>△</sup>낚<sup>○</sup>코, 식<sup>○</sup>를<sup>○</sup>자<sup>○</sup>벗<sup>○</sup>소

바라<sup>○</sup>미<sup>○</sup>부<sup>○</sup>리, 바다<sup>○</sup>에, 물<sup>○</sup>겨<sup>○</sup>리, 이<sup>○</sup>러<sup>○</sup>나<sup>○</sup>오

양복<sup>○</sup>을<sup>○</sup>이<sup>○</sup>브<sup>○</sup>면, 가<sup>○</sup>솔<sup>○</sup>못<sup>○</sup>쓰<sup>○</sup>오

二、濁音

國語と異なり、諺文は一字々々を發音する場合、決して濁音といふものがないが、他語と連なるときは往々濁音に變化する。但し濁音になり得る諺文は、ㄱ、ㄷ、ㄹ、스の四字に限り、(1)(口)(ハ)の様な場合に於て、○を附した字が濁音に發音されるのである。

(い) 母字音に連なるとき

\*印\* 雁夫とは結婚  
の儀式に用ふ  
の雁をもち行  
くる男を謂ふ

- 타\* 구 (啖壺)
- 포 도 (葡萄)
- 아 비 (父)
- 과 스 (菓子)
- 기 구 리 (蛙)
- 사 다 리 (梯子)
- 어 버 이 (親)
- 아 즈 머 니 (叔母)

濁音といつても、ㄱ音の場合は、타 구、조 기の如く、母字音で終る語（換言せば終聲なき語）にㄱが連なつたときは、ga, gu, go の發音され、決して nga, ngu, ngo の如く鼻音に發音されることはない。鼻音に發音されるのは、(口)の項の中にある인 구、임 금、항 구の如く、ㄴ・ㄹ・ㅇの終聲に連なつた場合に限る。

- (口) ㄴ・ㄹ・ㅇ音に連なるとき
- 인 구 (人口)
- 인 두 (饅頭)
- 안 부 (雁夫)
- 난 장 이 (一寸法師)

港\*  
口

第一\*  
章第三節  
參照

疳\* 金\*  
病

남금 (王)  
남긴다 (殘す)

경상남도 (慶尙南道)

남비 (鍋)

남스 (男子)

항구 (港)

경도 (京都)

양반 (兩班)

공장 (工場)

但し名詞と名詞と連繋して、一つの名詞となつた場合即ち合成名詞の場合は、ㄹ・ㄱ・ㄴ・ㄷ・ㄹ・ㄴ・ㄷ・ㄹ・ㄴ・ㄷの音に連なつても、多くは濁音にならない。即ち例へば次ぎの如き場合に於けるㄱ・ㄴ・ㄷ・ㄹ・ㄴ・ㄷ・ㄹ・ㄴ・ㄷは、下段の様に、濁音でなしに濃音に發音されるのである。

신골 (履物の型) …… 신골

안건 (案件) …… 안건

금줄 (金鑲脈) …… 금줄

감병 (小兒の蟲の病) …… 감병

안방 (内房) …… 안방

장\*대△ (長き竿) ..... 장\*새

장\*독△ (醬油甕) ..... 장\*독

장\*돌넝△ (市場を行商する旅商人) ..... 장\*돌넝

장\*바닥△ (地面) ..... 장\*바닥

장\*가△ (河岸) ..... 장\*가

장\*개나리△ (鬼百合) ..... 장\*개나리

장\*비름△ (葉鶏頭) ..... 장\*비름

장\*줄△ (網巾の紐) ..... 장\*줄

일\*본 (日本)

갈\*보 (私娼)

갈\*비 (牛肉のロース)

濁音になり得るㄱ・ㄷ・ㄴ・ㄹの四字でも、ㄱ・ㄷ・ㄴ・ㄹ(前項ハ)の如く日音に連なる場合のを除く)の終聲を有する語に連なるときは、絶対に濁音となることはないから念の爲注意して置く。

三、ㅇ音の變化

國語でも『イフ。(二云)』と書いてイウと發音したり、『ニホヒ。(臭)』と書いてニオヒと發音したり





決\* 斷

東京邊の言葉  
でもヒ(火)  
をシといつた  
リヒル(晝)  
をシルといつ  
たりする

입 학 (入學) ..... 입 팍  
 붓 허 (附いて) ..... 붓 터  
 잡힌다 (捕へらる) ..... 잡힌다  
 猶ほ『ㅎ』の省略される場合について謂へば

.....ㅎ고。  
 .....ㅎ지안코  
 .....ㅎ기。  
 何々して  
 何々せずして  
 何々すること

の場合であるが、この場合が音便によつて發音上略さるゝ代りに、고・지・기は何れも激音に變化して、左の用例の如くなるのである。

\*결단코 (결코) 決して  
 승낙치안코 承諾せずして  
 건축키위하야 建築する(ここの)爲に

次に、少數の場合ではあるが、ㅎは左の様な場合に、往々の人音に發音されることがある。  
 형 님 兄様  
 혀 舌  
 흥을본다 悪口をいふ

即ち、この場合형님, 혀, 흥을본다の發音されるのである。

四、이音の影響

例へば 사이(間、隙)、아비(父)、미나리(芹)、고양이(猫)等の如く、語尾にい音があるこゝ、多くの場合其の이音が上の音に影響して、새이、애비、미너리、고앵이의如く發音される。

다	리	다	리	자	리	어	미	고	기	적	비	소	낙	이	솟	대	장	이	먹	인	다	보	인	다	잡	힌	다	
(脚、橋)	……	……	……	(席)	……	(母)	……	(肉、魚)	……	(燕)	……	(驟雨)	……	(曲藝師)	……	(食はす)	……	(見せる)	……	(捕へらる)	……	……	……	……	……	……	……	……
대	리	재	리	에	미	괴	기	체	비	소	낙	기	깃	대	쟁	이	메	긴	다	뵈	인	다	뵈	인	다	잡	힌	다

五、니音の變化

니音は語頭に在るときに限り、이音に發音される。従つて、나、녀、뉴、뉴의各音も語頭に在るときは、同様야、여、요、유に發音されるのである。

니 (齒、虱) …… 이



第十一項參照

- 경 리 (經理) …………… 경 니
- 동 리 (洞里) …………… 동 니
- 삼 립 (森林) …………… 삼 님
- 학 리 (學理) …………… 학 니

랴, 려, 료, 류의 音も、右に準じ語頭に在るとききは야, 여, 요, 유に變化し、子字音に連なるときは(\* ㄹ音に連なるときはを除く)나, 녀, 뇨, 뉴に變化する。

七、ㄱ音の變化

ㄱの終聲に、ㄷ, ㄹの音が連なるこゝ、其ㄱはㅇの音に發音される。

- 닳는다 (磨く) …………… 당는다
- 깎는다 (削る) …………… 쌍는다
- 약 물 (藥水) …………… 양 물
- 학 문 (學問) …………… 향 문
- 작\* 란 (惡戯) …………… 장 난
- 약 룡 (藥籠) …………… 약 농

ㄱ終聲にㄷ音が連なるときは、先づㅇがㄷ音に變り、同時にㄱがㅇに發音される。

八、ㄷ・ㄹ音の變化

ㄷ及びㄹの終聲にㄱの音が連なるこゝ、其ㄷ・ㄹは多くの場合ㅇの音に發音される。

作\*  
亂

단군 (檀君) : : : : : 단군

단골\* (買付けの商店) : : : : : 단골

단결 (團結) : : : : : 단결

단긴다 (歩く) : : : : : 땀긴다

남구 (木) : : : : : 남구

남긴다 (残す) : : : : : 냉긴다

잠긴다 (沈める) : : : : : 쟁긴다

九、人音の變化

人の終聲にㄹ・ㄱの音が連なるこゝ、其人はㄹ音に發音される。

받는다 (受ける) : : : : : 받는다

만난다 (遇ふ) : : : : : 만나다

단옷날\* (端午の節句) : : : : : 단오날

갓모 (冠を掩ふもの) : : : : : 갓모

거짓말 (偽言) : : : : : 거짓말

바닷물 (海水) : : : : : 바닷물

一〇、ㄹ音の變化

ㄹの終聲にㄹ・ㄱの音が連なるこゝ、其ㄹはㄱの音に發音される。

\*入納とは書翰の封筒に書く文字にして誰それ行きの意なり

압니	(前齒)	.....	압니
남나무	(柴)	.....	임나무
입납	(入納)	.....	입납
입맛	(味覺)	.....	입맛
십만	(十萬)	.....	십만
짐무를다	(執務する)	.....	짐무를다
입맛춘다	(キッスする)	.....	입맛춘다

日終聲にㄷ音が連なるこゝ、先づㄷがㄴ音に變り、而して日が口音に發音される。

一一、ㄴ音の變化

ㄴの終聲にㄷ音の連なるこゝは、反對にㄷの終聲にㄴ音が連なるこゝは、其ㄴはこゝもにㄷ音に變化する。

변리	(利息)	.....	별리
찬란	(燦爛)	.....	찰란
한량	(際限)	.....	할량

\*限量

\*邊利

來\* 冷\* 來\* 亂\* 蘭\*

往 麵 日 離 草

:난 로 (煖爐) ..... 날 로

빨 니 (速く) ..... 빨 리

갈 네 (岐また、分れ) ..... 갈 래

빨 네 (洗濯) ..... 빨 래

빌린다 (貸す) ..... 빌린다

一一、ㄹ音の變化

ㄹが語頭に在るときは、ㄹ音に發音される。但し리·랴·려·료·류の場合は、本節第六項に説いた如く、變化のし方が少し異なるから、此處では例外とする。

랍 (臘) ..... 략

\* 랴 초 (蘭) ..... 랴 초

\* 려 리 (戰亂) ..... 날 리

\* 리 일 (明日) ..... 니 일

\* 링 면 (冷したる麵類) ..... 링 면

\* 리 왕 (往來) ..... 내 왕

: 로 인 (老人) ..... 노 인

로 동 (勞働) ..... 노 동



\*鹿茸 (藥用に  
供す)

\*漏泄  
\*陋地

\*作亂

론어	(論語)	노너
*룩용	(鹿の袋角)	노공
*루설	(漏洩)	누설
*루지	(不潔な場所)	누지
릉	(陵)	능
なほ三音は、ㄱ・ㄴ・ㄷ・ㄹ・ㄷ・ㄹ・ㄷ・ㄹの終聲に連なるこきも、矢張りㄴ音に變化する。		
*작란	(惡戲)	장난
*람루	(襪襪)	남누
십리	(十里)	십니
*명령	(命令)	명녕

# 第二編 會話

## 第一節 交際

安寧*	1	그동안, 안녕하십니까
無故*	2	네, 다무고합니다
兩班*	3	요점은, 미우치늘하야젓습니다
顏面*	4	죄량반, 모르십닛가
人事*	5	글쎄요, 안면은, 익습니다만은
李貞植*	6	그러면, 두분이, 인스하시지요
朴萬善*	7	최음뵈옵니다, 죄는, 리덩식이라고합니다
後、愛護*	8	네, 그러하십닛가, 죄는박만선이라고합니다
彼此、一般*	9	이후부터, 만히의호하야주시기를, 바랍니다
	10	피츠, 일반이을시다

その後御變りありませんか

はい皆元氣でございます

この頃は太變涼しくなりました

あのお方は御存じではありませんか

そうですね、お顔だけはよく存じて居ますが

それではお二人共名乗合をなささい

(인스と稱して初對面の時相互名乗り合ふを禮とす)

初めてお目に掛ります、私は李貞植と申します

はあ左様でございますか、私は朴萬善と申しま

す

今後大いに愛護して下さい様お願い致します

(ごうか今後宜しくお願ひします)

お互のこゝでございませう

\*主人令監  
以前、親

\*二十年、親舊

\*兄弟

\*宅

\*明治町

\*感謝

\*只今、勤務

\*殖産銀行

\*當身、故郷

\*内地、福岡縣

\*遷々

\*失禮

\*人事

\*金東彬

11 \*主人영감하고는、이천부터친하시든가요

12 \*이십년친구올시다

13 \*형제와、달음이엿습니다

14 \*딴은어딴집닛가

15 \*명치덩에삽니다、지나시거든、들느십시오

16 \*감사합니다、 한번가뵈겠습니다

17 \*지금、어딴근무하십니까

18 \*식산은형에、다닙니다

19 \*당신고향은、어딴시오닛가

20 \*내디、복강현이올시다

21 \*밤이、이숙하얏스니、그만、도라가겠습니다

22 \*천천히、놀다가시지요

23 \*나중、또오겠습니다

24 \*먼저、가、실례합니다

25 \*우리、인수하십니까

26 \*나는、김동빈이라합니다

御主人は以前から御懇意ですか

二十年からの友達で御座います

兄弟も同様でございますね

お宅はどちらでございますか

明治町に住んで居ります、お通りの節はお寄り

下さい

有難うございます一度お伺ひ致しませう

只今何處にお勤めで御座いますか

殖産銀行に勤めております

あなたの御郷里はどちらですか

内地の福岡縣であります

夜が更けましたから、これでお暇致します

ゆつくり遊んでいらつしやい

この次ぎ又上がります

お先へ失禮致します

我々名乗合を致しませう

私は金東彬と申します

大端\*

27 あー、<sup>(金の音は金なれども姓の時は金と云ふ)</sup> 그렇하십닛가、이전부터、말씀은 만히  
뜻자 왔는데、인제 뵈옵기가、대단히 느긋습니  
다

不敏\*

28 죄가、불민한 외담이 올시다

崔春基\*

29 죄는、최춘기라 합니다

聲華、已往\*

30 눈구신줄은 <sup>(성화는)</sup> 이왕부터、알고잇섯습  
니다

니다

相從\*

31 이다음、자조、상종하십시다

氣運\*

32 그동안、괴운이 었더하십닛가

其間\*

33 네、몸칭이、잘잇습니다

德澤、滋味\*

34 그사이 <sup>(기간)</sup> 안녕히 지내섯습닛가

初面、舊面\*

35 네、덕<sup>덕</sup>으로、자미잇게、지내엿습니다

後、親切\*

36 오늘、초면이 올시다만은、구면이나、달음이  
업습니다

37 참、그러합니다、이후라도、친<sup>친</sup>컬히、지내십  
시다

あー、左様ですか、豫てお話はよく承つて居り  
ましたが、只今お目に掛るのは餘り遅うござい  
ました

私が不敏の故で御座います

私は崔春基と申します

誰方かは <sup>(御芳名は)</sup> 豫て承つて居りました

これから始終御交際致しませう

其後御機嫌は如何で御座いますか

はい、達者でございます

其後御變りは御座いませんか

はい、お蔭で面白く暮して居ります

今日初めてお目に掛りましたが、舊知も同様に  
ございます

ございます

誠に左様で御座います、今後も御懇意に願ひ  
致します

日氣\*

38 밤사이, 엇더하십닛가  
39 안녕히, 줌으섯습닛가  
40 밤사이, 잘, 지냈나

41 잘자나

42 오늘은, 일기가, 매우춥습니다

43 그러나, 좀치웁습니다

44 아침은 (진지는) 별치, 잡수섯습닛가

45 아즉, 아니먹엇습니다

46 진지잡수시고, 곳사진하시겟습닛가

47 오늘은, 다른곳에, 볼일이잇서서, 도청에는  
좀늦게가겟습니다

48 오늘밤에는, 밤부신일이업습닛가

49 별노, 밤분일은업겟습니다

50 그러면, 오늘밤에, 다시, 오겟습니다

51 쉼녁진지를 (쉼녁밥) 잡수섯습닛가

52 별치, 먹엇습니다

夜間如何ですか (お早うございます)

よくお休みなさいましたか (お早うございます)

夜間よく暮したか (お早う)

よく休んだか (お早う)

今日は天気が大層好うございます

然し少し寒うございます

朝飯 (御飯) はもう召上りましたか

未だ喰べません

御飯を召し上がつてから、すぐ御出勤なさいま

すか (仕進は官署の出勤に用ふ)

今日は、他處へ用事があつて、道廳にはちよつ

と遅れます

今晚はお忙しいことはありませんか

別に忙しいことはなからうと思ひます

それでは今晚出直して参りませう

夕飯をお上りなさいましたか

もう喰べました

仕進\*

別\*

失禮\*

緊急\*

議論\*

暫時、地方

水利組合、設立、技師、薦舉

別\*

53 오늘, 아침에는, 실례하였습니다

54 오늘밤에는, 무슨, 긴급히, 말씀하실일이, 있습니다

55 좀, 의논할일이 있습니다

56 무슨일인가요, 말씀하시지요

57 적번에도, 잠시말씀한거와갓치, 적의디방에  
슈리조합이, 설립되는대, 마당한괴소를, 한  
분천거하여주십시오

58 그것은, 어렵지안은일이올시다

59 오늘밤은, 이야기나, 하시다가, 천천히놀다  
가십시오

60 별노, 밤분닐은, 업습닛가

61 이썬외지는, 대단히밧벗습니다만은, 어케  
지, 일이, 다, 썬넷습니다

62 그러케, 아모일도업스시면, 좀, 놀다가갓습  
니다

63 미우, 밤이들엇스니, 그만, 가갓습니다

今朝は失禮致しました

今晚は、何か緊急なお話しでもありませんか

一寸御相談申し上げたいここにあります

ごんな御用ですかお話し下さい

この前にも一寸申し上げたやうに、私の地方に  
水利組合が設立されますが、適當な技師を一人  
推薦して下さいませんか

それは、お易い御用です

今晚はお話しでもして、ゆつくり遊んでいらつ  
しやい

別にお忙しい御用はございませんか

今までは、非常に忙しうございましたが、昨日  
で仕事片付きました

そんなにお暇でしたら、少し遊んで参りませう

大分夜が更けましたから、これでお暇致します

速\* 滋味 有益

平安

來日

主人

64 웨, 그리, 속히도라가시랴닛가

65 아니올시다, 참, 재미있게만히놀앗스며, 유

익한말씀을, 만히들엇습니

66 또놀나오십시오, 귀도, 한번, 가쇠뵈겟습니

다

67 쪽, 놀너오십시오, 그리고, 악가, 말승한것

은, 잊지마십시오

68 네, 녀너마십시오

69 평안히, 즐으시오

70 그러면, 삼혀, 도라가십시오

71 리일아침에, 또뵈겟습니

72 이리오너라

73 주인계시오

74 손님오섯다, 나가보아라

さうして、そんなに、急いでお歸りになりますか  
いいえ、本當に長時間面白く遊びましたし、そ  
れに有益なお話を澤山承りました  
又遊びにお出で下さい、私も一度お伺ひ致しま  
せう

是非遊びにお出でなさい、それから先刻申し上  
げたことは、お忘れなくお願い致します

承知しました、御心配下さいますな  
御機嫌よくお休みなさい

それでは、お氣を付けてお歸りなさい  
明朝又お目に掛りませう

此方に來い(御免下さい)

(京城邊にて他人の家を訪問する時入口にて案内  
を乞ふ言葉なり)

主人居られますか

(地方にて行ばるゝ言葉なり)

客様がお出でになつた、出て御覽

楊世昌、令監

名啣

暫問

舍廊

陋地、旺臨

惶感

千萬

隔阻 (正音 격조)

75 어 되셔, 오섯습닛가

76 누구십닛가

77 누구요

78 나는, 양외창이라 하는 사람인데, 주인령감

(나으리)의, 뵈오라와다고엿줍게

79 이명함을, 주인령감의, 갖다드리게

80 잠간, 기다려주십시오

81 령감의셔, 사랑으로, 어셔들어오시라고, 하  
십니다

82 자, 어셔, 이리올나오시오

83 이, 열마만입닛가

84 이처럼, 루디에, 왕림하야주시니, 대단히,

황감하외다

85 천만의말씀이올시다, 오리동안, 적조하엿습

니다

86 웨, 그리, 뵈올수가업습닛가

何方からお出でになりましたか

誰方でいらつしやいますか

誰方ですか

私は楊世昌といふ者だが、御主人にお目に掛りに來たき、申し上げて呉れ

(取次の召使に對して言ふ言葉なり)

此の名刺を御主人に上げて呉れ(同前)

ちよつこお待ち下さいませ

主人が、客間の方へ、早くお通り下さる様に、おつしやいました

さー、早く(さうぞ)お上り下さい

やー、しばらくでした

斯様にむさくるしい處にお出で下さいまして、誠に恐入ります

何う致しまして、久しく御無沙汰致しました

さうして、そんなに、お目にかゝるこゝが出来



別緣故

全然

風勢、甚

卷煙

時俗

87 그동안、고향에、좀갔다왔습니다

88 아、그렇습니다、여러분、다、안녕하세요

89 別緣故입니다

90 덕분에、다、안녕하셨습니다

91 감사합니다、그사이、어린것이、좀아랐습니

다

92 아、그렇네요、全然、몰랐습니다

93 오늘은、風勢가、심하야、일기가、춥습니다

이리아릇북으로、오십시오

94 여기도、춥습니다、좀밭바치、여기저기도라

다녔드나、얼골이、답니다

95 자、권연을붓치시오

96 죄는、담배를떨줄모릅니다

97 시속량반이아니신걸

98 차나、잡수십시오

ないのでせうか

この間郷里にちよつこ行つて参りました

あ、そうでしたか、皆様御丈夫でしたか

別に變つたことはありませんでした

お宅でも、皆様お變りはありませんでしたか

有難うございます、此の間子供が少し工合が悪

う御座いました

あ、そうでしたか、ちつとも知りませんでした

今日は、風が強くて天氣が寒うございます此方

の溫突の焚口の方へお出でなさい

此處で結構です、少し忙しくて彼方此方驅け廻

りましたので、顔がほてります

さ、煙草をお吸り下さい

私は煙草をいたゞきません

近代の方ではないですね(それは珍らしいです

ね)  
お茶でもお上りなさい

菓子\*

99 네、먹겠습니다

100 변변치아니하나、이과즈를잡수시요

101 고맙습니다、먹겠습니다

102 고만、가야하겠습니까

藥酒\*

103 이것、무슨말씀이오、오래간만에오셔셔、약

쥬라도、한잔잡수시고가야、첩첩지안겠습니까

다

不可不\*

104 아니올시다、오늘은、불가불、불일이잇스닛

가、곳、가야하겠습니까

105 :경말이십닛가

106 쉬이、또、다시오겠습니다

107 참、첩첩합니다

108 언케속、들느시랍닛가

二三日後\*

109 이삼일후에、오겠습니다

待接\*

110 일선오신것을、아모디첩도、못하야、실례하

였습니다

はい、戴きます

つまらぬものですが、この菓子をお上り下さい

有難うございます、頂戴致します

もう歸らなければなりません（もうお暇いたし

ます）

それはどうした事ですか、久し振りにお出でに

なつたのに、お酒の一杯も召上がつてお歸りに

ならぬこ、氣が濟みません

いや、今日は已むを得ない用事がありますから

直ぐ歸らなければなりません

本當で御座いますか

近い内に又出直して参りませう

本當に残念ですね（お名残り惜しいですね）

何時頃お出で下さいませう

二三日後にお伺ひ致しますせう

折角お出で下さつたのに、何のお構も出来ませ

んで、失禮致しました



務局、財務局、殖産局、法務局、學務局、警務局、  
 行政組織、局課制、各局、局長、勅任官、  
 事務官、多數、奏任官、高等官、技術官、  
 視學官、編修官、技師、通譯官、  
 職員、屬、編修書記、技手、通譯生、  
 判任官、直轄、所屬官署、  
 中樞院、諮詢機關、舊慣、制度、事項、  
 調査、重要、議長、副議長、顧問、  
 參議、遞信官署、遞信局、郵便爲

- 14 \* 레신관처는, 레신국, 우편위척금관리소,
- 13 \* 중요한직원은, 의장, 부의장, 고문, 참의, 처기관장들이잇소
- 12 \* 증추원은, 도선총독의 주순기관인데, 도선의 기관과최도에관한사항을, 조사하는일이잇소
- 11 \* 총독부측화의 소속관처도, 만히잇소
- 10 \* 이외에, 총독부직원은, 속, 편슈처기, 괴슈 통역성이잇는데, 다관임관이올시다
- 9 \* 이외에 고등관으로는, 괴술관인시학관, 편슈관, 괴스, 통역관들이잇소
- 8 \* 각과의과장은, 다사무관인데, 대다수는주임관이요
- 7 \* 각국에는, 국장을두엇는데, 다칙임관이요
- 6 \* 총독부내의, 행정조직은, 국과제올시다
- 5 \* 여잇고, 또다시, 여러과로난우어잇소
- 4 \* 식산국, 법무국, 학무국, 경무국으로, 나뉘

殖産局、法務局、學務局、警務局に分かれて居り、又更に多くの課に分かれて居ます  
 總督府内の行政組織は、局課制でございます  
 各局には、局長を置いてあるが、皆勅任官です  
 各課の課長は、皆事務官でありますが、大多數は奏任官です

この外高等官では、技術官である視學官、編修官、技師、通譯官等があります

この外總督府職員には屬、編修書記、技手、通譯生が在るが、皆判任官でございます

總督府直轄の所屬官署も澤山あります

中樞院は、朝鮮總督の諮詢機關であるが、朝鮮の舊慣や、制度に關する事項を、調査するこゝに  
 があります

重要な職員は議長、副議長、顧問、參議、書記官長等があります

遞信官署は遞信局、郵便爲替貯金管理所、郵便

替貯金管理所  
郵便局電話局  
遞信書記、航  
路標識看守  
鐵道局、新設  
專賣局、煙草  
人蔘、事務

15 \* 우편국, 遞信국, 급, 우편소 등이 잇소  
16 \* 레신치국, 항로표식간수도, 다, 관입관이요  
17 \* 텔도국이, 이번 에, 신설되엿소  
18 \* 천매국에 서는, 연초, 소금, 인삼 등의 사항에  
관한 사무를 맞앗소

專賣支局、

各地、出張所

稅關、稅關長  
鑑定官

19 \* 京城, 全州, 大邱, 平壤 에, 專賣支국을 두고  
지국 및 호로, 각지에, 出장소를 두엿소  
20 \* 稅關 에는, 稅關장을 두고, 그 외에, 鑑定官을  
두엿소

裁判所、高等  
法院、覆審法  
院、地方法院  
階級、院長、  
判事

檢事局、檢事  
長、檢事正、  
檢事

支廳、出張所

監獄、刑務所  
少年刑務所

21 \* 支廳 에, 檢事국이 잇는대, 檢事장, 檢事正  
各법원에, 檢事들이 잇소  
22 \* 이 외에, 地方法院 에는, 地廳, 出장소를 두엿  
소  
23 \* 감옥 에는, 형무소와 少年형무소의 이종이 잇고

局電話局及郵便所等があります

遞信書記、航路標識看守等も、皆判任官です

鐵道局が今度新設されました

專賣局では、煙草、鹽、人蔘等の事項に關する  
事務を掌つて居ます

京城、全州、大邱、平壤に專賣支局を置き、支  
局の下に、各地へ出張所を置いてあります

稅關には稅關長を置き、其の外に鑑定官を置い  
てあります

裁判所には高等法院、覆審法院、地方法院の階  
級があり、各法院には、院長及判事等が居りま  
す

各法院に檢事局があるが、檢事長、檢事正、檢  
事等が居ります

この外地方法院には支廳、出張所を置いてあり  
ます

監獄には、刑務所と少年刑務所の二種があり、

二種、典獄、看守長  
 \*新義州、營林廠、山林地帶、營林署、或  
 \*醫院、院長、醫官、醫員、藥劑官、藥劑手、看護婦長  
 \*濟生院、養育部、盲啞部  
 \*勸業模範場、水原、沙里院、西鮮支場、淮陽、蘭谷、牧馬支場  
 \*蠶業試驗所、女子蠶業講習所  
 \*中央試驗所、工業、分析、鑑定、業務

- 24 직원으로, \*연옥, \*간수장, \*간수들이잇소  
 \*신의주에, \*영림장이잇고, \*삼림디대에, \*영림  
 처, \*후은, \*출장소를두엇소
- 25 \*의원에는, \*일장, \*의관, \*의원, \*약제관, \*약제  
 슈, \*간호부장들을두엇소
- 26 \*최성원은, \*양육부와링아부로, \*난우어잇소  
 \*권업모범장은, \*슈원에두고, \*사리원에, \*처선  
 지장, \*목포에면작지장, \*회양린곡에, \*목마지  
 장을두엇소
- 28 그외에, \*잡업시험소, \*녀스잡업장습소가잇소
- 29 \*경성에, \*중앙시험소가잇는디, \*공업에관한시  
 험과, \*분석, \*감정에관한업무를, \*맞허보오
- 30 \*관림학교로는, \*경성에, \*경성데국대학이잇는  
 외에, \*법학전문학교, \*의학전문학교, \*고등공  
 업학교, \*고등상업학교, \*사범학교, \*공업학교  
 가잇고, \*슈원에, \*고등농림학교가잇소

第二節 官廳・事務

職員으로서は典獄、看守長、看守等があります  
 新義州に營林廠があり、山林地帯に、營林署或  
 は出張所を置いてあります  
 醫院には院長、醫官、醫員、藥劑官、藥劑手、  
 看護婦長等を置いてあります  
 濟生院は養育部、盲啞部に分れて居ます  
 勸業模範場は水原にあり、沙里院に西鮮支場、  
 木浦に棉作支場、淮陽蘭谷に牧馬支場を置いて  
 あります  
 その外に蠶業試験所、女子蠶業講習所がありま  
 す  
 京城に中央試験所があるが、工業に關する試験  
 や分析、鑑定に關する業務を掌つて居ります  
 官立學校では、京城に京城帝國大學がある外、  
 法學専門學校、醫學専門學校、高等工業學校、  
 高等商業學校、師範學校、工業學校があり、水  
 原に高等農林學校があります

\* 地方行政、官廳、道廳、知事

\* 府、郡、島、府尹、郡守、島司

\* 面長

\* 面行政、振否朝鮮統治、影響、直接々觸

\* 行政機關

\* 內務部長、財務部長、警察部長

\* 各郡廳所在地、警察署、要害處、駐在所、配置

\* 警察官署、警視、警部、警部補、巡查部長、巡查等級

\* 出生申告書、面事務所

31 디방행정관청으로는, 십삼도에, 도청이 잇는 디, 장관은 지소요

32 도에, 부, 군, 도를 두고, 부는 부윤, 군은 군수, 도는 도수가 다스리요

33 군과 도는, 면으로 난우어 잇고, 면에는 면장을 두엇소

34 면행정청의 진부는, 곳, 道廳 통리에 대한 영향이 적지 아니하니, 이는, 곳, 인민의 게, 직첩첩 축하는, 행정기관인 외답이요

35 도지사의 아래에는, 니무부장과, 지무부장과 경찰부장이 잇습니 다

36 각군청소지 디에는, 경찰처를 두고, 요히 처에 경찰관 주지 소를, 비치 하얏소

37 경찰관 처의 직원은, 경시, 경부, 경부보, 순사 부장, 순사들의 등급이 잇소

38 이 출생 신고 처를, 면사무소에, 갖다 주고 오시

地方行政官廳으로서は、十三道に道廳があるが長官は知事であります

道に府郡島を置き、府は府尹、郡は郡守、島は島司が治めます

郡と島は、面に分れて居り、面長を置いてあります

面行政の振否は、直に朝鮮統治に對し、影響するところが少くないが、これは即ち、人民に直接々觸する行政機關であるからであります

道知事の下には、内務部長、財務部長及び警察部長があります

各郡廳所在地には、警察署を置き、要所には、警察官駐在所を配置してあります

警察官署の職員は警視、警部、警部補、巡查部長、巡查等の等級があります

この出生申告書を、面事務所へ出して來て下さい

\*府廳、税金、  
期限、府廳金  
庫、殖産銀行

\*所用、戶籍謄  
本、抄本、身  
分證明書

\*代書所、土地  
移轉登記、手  
續

\*訴訟、辯護士

\*履歷書

\*醫師、依頼、  
身體検査書  
任命、辭令書

\*赴任

\*事務處理、敏  
活、昇級

\*出勤簿、調査  
勤怠

\*月俸中、國庫

39 부청에서, 세금 고지서가 나왔으니, 이거 바리

지 말고, 귀한 안으로, 돈을 갖다가, 우편국이  
나, 부청 금고인식 산은 형에 내여라

40 소용이잇스니, 호적등본(초본)과, 신분증  
명서를 내다가 주시요

41 대외소에 가쳐, 토디이 권등귀슈속을, 해달나  
하시오

42 이번 소송에는, 변호사를, 들만, 쓸시다

43 리력서를 써오시요

44 의사의게 의뢰하여, 신데검수서를 써오시요

45 임명이 되었스니, 수령서를, 받으러 오시요

46 굿부임하시요

47 사무처리를, 민활히 하니, 승급을 식혀야 하겠  
소

48 출근부를, 조사해보면, 근태를 알겠소

49 월봉증에서, 국고납입금과, 의무대금을 제외하

府廳から税金告知書が来たから、忘れずに期限  
内に、お金を郵便局か、府廳金庫である殖産銀  
行へ納めろ

必要がありますから、戶籍謄本(抄本)と身分  
證明書を貰つて来て下さい

代書所へ行つて、土地の移轉登記手續をして貰  
つて下さい

今度の訴訟には辯護士を二人ほど頼みませう

履歷書を書いて來なさい

醫師に依頼して、身體検査書を書いて來なさい  
任命になつたから、辭令書を受けにお出でなさい

い  
すぐ赴任しなさい

事務の處理を敏活にするから、昇級をさせなけ  
ればなるまい

出勤簿を調査して見れば勤惰が分ります

月給の中から、國庫納入金と義務貯金を引きま





關係者、呼出  
曉諭、繁雜

言論、自由、  
尊重、生覺、  
民衆、煽動、  
行動、容恕

崔刑事、重、  
犯罪者、搜索  
逮捕

嚴重、尋問、  
行爲、吐

連累者、共謀  
者、模樣

留置場、來日  
檢事局、押送  
護送

豫審、公開裁  
判、公判

峻烈、論告、  
辯護士、懇曲  
辯論

裁判官、判事  
公正、言渡、  
不服

59 다시 관계자를 호출해서, 잘 요유해야, 일이, 번잡치안토록하시요

60 언론의 자유는, 존중하게 생각하나, 민중을 선동하는 행동을 해서는, 조금도, 용서치 못하겠소

소

61 최형사가, 중범죄자를 수석해야, 데모해야 왔습니다

62 엄중히 심문해서, 범죄행위를, 다 토하도록하시요

63 연루자 (공모자) 는 엄중모양이요

64 류치장에 두었다가, 리일검숙국으로, 압송 (호송) 하시요

65 예심이 끝나고, 오늘 공개 재판 (공판) 을 하야

는디, 처음에, 검사의 준렬한 톤 고가 잇섯고,

그 다음에, 변호사의 간곡한 별론이 잇스뒤에,

지판관 (판사) 의 공정한 언도가 잇섯서, 불복

도 달지안앗소

更に關係者を呼び出して、よく諭して、仕事が煩雜に流れぬやうにしなさい

言論の自由は、尊重する考だが、民衆を煽動する行動がある様では、少しも假借することは出来ません

崔刑事が、重大な犯人を搜索して、逮捕して来ました

嚴重に尋問して、犯罪行爲を皆自白するやうにしなさい

連累者 (共謀者) はないやうです

留置場へ入れて置いて、明日檢事局へ護送しなさい

豫審が濟んで、今日公判に附せられたが、初め檢事の峻烈な論告があつて、その次に辯護士の懇切なる辯論があり、後に判事の公正な言渡があつたので、不服も申立てませんでした

官報、道報  
公文、決裁、  
發送

書籍、小包郵  
便  
書類、文書、  
重要、登記

陳情書、國語  
翻譯  
原文

請願書、申請  
書、提出、調  
査、認可

諭告、公布、頒  
布、同時、一般  
官吏、訓令、發  
注意、惹起  
狀況、統計表  
校正、印刷  
準備

報告書、原稿  
淨書  
謄寫、複寫

66 官報と道報を持つて來い

67 この公文は、急ぐんだから、決裁になつたら、  
發送するやうにして下さい

하도록して下さい

68 この書類は、小包郵便で送つて下さい

69 この書類（文書）は、重要なものですから、書留  
で出して下さい

ちしよ

70 この陳情書を國語に譯して下さい

71 これを原文通り、三通だけ寫し取つて下さい

72 請願書（申請書）をすぐ提出なされば、調査の  
上よければ認可します

よばあせ、認めらるれば、認可して下さい

73 諭告を公布するに同時に、一般官吏に訓令を發  
して、注意を惹起しました

け、注意を惹起し、状況を調査して、統計表をお造りなさい

74 状況を調査して、統計表をお造りなさい

75 校正が済んだら、印刷の準備をなさい

よ

76 この報告書の原稿を、淨書して下さい

77 謄寫をしても複寫をしてもよいです

官報と道報を持つて來い

此の公文は、急ぐんだから、決裁になつたら、  
すぐ發送するやうにして下さい

此の書籍は、小包郵便で送つて下さい

この書類は（文書）重要なものですから、書留  
でお出し下さい

この陳情書を國語に譯して下さい

これをお出し下さい

これを原文通り、三通だけ寫し取つて下さい

請願書（申請書）をすぐ提出なされば、調査の  
上よければ認可します

諭告を公布するに同時に、一般官吏に訓令を發  
して、注意を惹起しました

状況を調査して、統計表をお造りなさい

校正が済んだら、印刷の準備をなさい

此の報告書の原稿を、淨書して下さい

謄寫をしても複寫をしてもよいです

謄寫をしても複寫をしてもよいです

謄寫をしても複寫をしてもよいです

謄寫をしても複寫をしてもよいです

謄寫をしても複寫をしてもよいです

籌板 (珠板)  
算板

都合

減

圖章、旅費

金券、銀行

領受證、書式  
樣式、依之

文化政治、標榜、以後、半島、山河、一新

爲政者、世界大勢、慧眼、觀察、輿論、趨勢

78 珠板 (算板) 을, 잠깐, 노아 주시요, 니가부

를러이니

79 도합이얼마요

80 또한번 노아봅시다

81 마켓소, 틀렛소

82 거긔셔, 십륙원칠십팔전오리를, 감하시요

83 도장을보내셔, 러비를차즈시요

84 이금권을가지고, 은행에가셔, 돈을차켜오너

라

85 령수증은, 이셔식 (양식) 에의지하야, 쯔오

시요

86 이줄이들녘스니, 다시, 곳쳐췌오시요

87 문화정치를표방한이후로, 반도의산하가, 면

목을일신하얏소

88 위청자는, 쉼계대체를, 해안으로, 잘관찰하

며, 여론의추세를, 잘알아야하오

算盤を一寸おいて下さい、私が讀みますから

合計が幾らですか

もう一度おいて見ませう

合ひましたか、違ひましたか

其處から十六圓七十八錢五厘を引きなさい

印を持たしてやつて、旅費を貰ひなさい

この金券を持つて、銀行へ行つて、金をこつて  
來い

領收證はこの書式 (樣式) に依つて、書いてお  
出でなさい

この行が違つて居ますから、もう一度書直して  
お出でなさい

文化政治を標榜して以來、半島の山河は、面目  
を一新しました

爲政者は、世界の  
大勢を、慧眼を以て觀察し、  
輿論の趨勢を、よく知らなければなりません

第三節 教 育

當身、子弟、工夫、學校、書堂、只今、千字、童蒙書、先生、有名、漢學者、每朔、素秋、衣服、一圓式、出捐、秋收、來年、普通學校

- 1 당신즈데는, 어 되셔, 공부합닛가
- 2 아즉, 나히가어려셔, 학교를못보내고, 클방 (외당) 에보내엿습니다
- 3 지금, 무엇을닐습닛가
- 4 몇칠전에, 천스를예고, 요사이는, 동몽선습 을닐입니다
- 5 선성님은, 누구신가요
- 6 이고을에, 유명한한학자올시다
- 7 미삭, 킁미돈을, 얼마나낼닛가
- 8 킁미돈은, 오십전식이고, 춘추로, 의복을해 보내노라고, 한일원식, 출음을내고, 또가을 추수써에, 베탄심식보냅니다
- 9 몇살이, 되엿습닛가
- 10 일곱살이, 되엿습니다
- 11 리년에는, 보통학교에, 보내시겟습니다그러

あなたのお子さんは、ここで勉強して居ますか  
 未だ年が少いので、學校へ出すことが出來ず、  
 書堂にやつて居ります  
 只今何を讀んで居ますか  
 數日前に、千字文を了へたので、此頃は、童蒙  
 先習を讀ませて居ります  
 先生は誰方ですか  
 この郡で有名な漢學者で御座います  
 毎月月謝金を幾ら出しますか  
 月謝は五十錢宛で、春秋に衣服を拵へて贈る爲  
 めに、約一圓宛醜金するし、又秋の收穫時期に  
 糶一石宛送ります  
 何歳になりましたか  
 七つになります  
 明年は、普通學校へ、お出しになるんでせうね

\* 入學手續  
\* 入學願書

\* 試驗

\* 廣告、告示、  
生徒募集要項  
人員數

\* 應募者

\* 男子、定員、  
超過、女子、  
不過

\* 入學率、原因

\* 學父兄、女先  
生、訓導、結  
局女子教育、  
重、緣故

\* 土曜、學校職  
員、學務委員  
入學勸誘

12 \* 入學手續

13 \* 학교에 가서, 입학원서를 갖다가, 써내시면,  
줍습니다

14 \* 시험을 뵈니까

15 \* 악가, 광고 (고시) 판에 붙은 성도 모집요항을  
보니까, 인원수는, 한이 백명이라 하얏고, 시  
험한다는 말은 업서요

16 \* 응모자가, 얼마나 잇소

17 \* 남수효는, 정원보다 초과 하얏습니다만은,  
녀자는, 이십명에 불과 합니다

18 \* 녀스의 입학률이, 적은것은, 무슨, 원인이 잇  
소

19 \* 학부형들의 말은, 녀선생 (훈도) 이 잇스면 보  
내겠다하나, 이것은 결국, 녀스교육을, 그리  
케 좋히아지 못하는 연고올시다

20 \* 요달도요일에는, 학교직원과, 학무위원이,  
갓치, 입학권유를 해봅시다

入學手續がむづかしいですか

學校へ行つて、入學願書を貰つて來て、書いて  
出せばよいのです

試験を受けさせますか

先刻廣告(告示)板に貼つてある生徒募集要項  
を見るに、人員は約二百名あるが、試験を行  
ふといふことはありませんでした

應募者が、どれ位ありますか

男子の數は、定員より超過して居ますが、女子  
は、二十名に過ぎません

女子の入學率が少いのは、何か原因があります  
か

父兄達の話では、女先生(訓導)が居れば出す  
と云つて居るが、これは結局女子教育を、そん  
なに重く考へないからです

この次の土曜日には、學校職員と學務委員と、  
一緒に入學勸誘をやつて見ませう

この次の土曜日には、學校職員と學務委員と、  
一緒に入學勸誘をやつて見ませう

か

この次の土曜日には、學校職員と學務委員と、  
一緒に入學勸誘をやつて見ませう

この次の土曜日には、學校職員と學務委員と、  
一緒に入學勸誘をやつて見ませう

この次の土曜日には、學校職員と學務委員と、  
一緒に入學勸誘をやつて見ませう

この次の土曜日には、學校職員と學務委員と、  
一緒に入學勸誘をやつて見ませう

この次の土曜日には、學校職員と學務委員と、  
一緒に入學勸誘をやつて見ませう

職員會、校長室

學級擔任、定一層、努力

四月、入學式協力、準備

學籍簿、成績考查簿、整理事務分擔(分掌)必要

新任訓導、備品係

各教室、冊床在籍兒童數號數

朝會體操、指導、看護當番

運動場

上學鐘、整列

教室、出入、遷

21 직인회를 열러이니, 다, 교장실로 모히시요

22 학급담임을, 이리케 청하얏스니, 일층터, 노력하야 주시기를 바라오

23 스월 초하룻날, 입학식을 거행할러이니, 협력하야, 준비히 주시요

24 학적부, 성적고사부들의 정리는, 다 하섯소

25 사무분담(분장)을, 다시, 정할필요가 업스니, 그대로, 보아 주시요

26 신입훈도의게는, 비품계를 맛기라 하오

27 각교실의 책상과, 걸상을, 지적아동슈터로, 집어넛코, 호슈를 맞춰늘어노아 주시요

28 도회레 조의 지도는, 간호당번이, 하기로 합시다

29 노는 시간에는, 운동장에, 나가거라

30 상하종을 쳐거든, 속히 모혀서, 정렬하여라

31 교실에 출입할 때는, 천천히 덩기며, 좌측 통행

職員會を開きますから、皆校長室に集つて下さ

い 學級擔任を、かう定めましたから、もう一層努力して下さる様希望致します

四月一日に、入學式を舉行する積りだから、皆協力して準備して下さい

學籍簿、成績考查簿などの整理は出來ましたか

事務分擔(分掌)を、更に定める必要がありませんから、その儘やつて下さい

新任訓導には、備品係を持たせやうと思ひます

各教室の机や腰掛を、在籍兒童數に合せて入れて置いて號數を合せて列べて下さい

朝會體操の指導は、看護當番がやることにしませう

遊ぶ時間(休み時間)には、運動場に出て往け

始りの鐘がなつたら、すぐ集つて整列せよ

教室に出入する時は、ゆつくり歩いて、左側通

々、左側通行

敬禮、端正

出席簿

呼名、分明、  
對答

冊樑、冊床

雜記帳

漆板、計算

時間、習字

硯滴

半紙、井間紙

文鎮

書帖、體法、  
精神

을 하여라

32 경례를, 단정히 하여라

33 출석부를, 가좌오너라

34 호명을 할터이니, 분명히, 대답 하여라

35 칩보를 풀어치, 칩상속에 집어너어라

36 글을 넘어보아라

37 독본을 덮고, 잡과장을 너어, 글씨를 너보아라

38 칩판에 나가치, 계산을 하겠습니다

39 다음시간에, 습자를 쓸터이니, 버루를, 다내

여노아라

40 연덕물을, 너와느냐

41 먹을, 등복가터라

42 반지밋해, 청간지를 알고, 바람에 날너지안토

록, 문진으로, 놀너노시요

43 처럼 (레범) 을 살보고, 청신을 너려치, 너보

시요

行をせよ

敬禮を叮嚀にせよ

出席簿を持つて來い

名を呼ぶから、はつきり答へよ

本包を解いて、机の中に入れよ

本を讀んで見よ

讀本をこちて、雜記帳を出して、字を書いて見

よ

黑板へ往つて、計算をしませう

次の時間に、習字をするから、皆硯を出して置

け

水入の水を汲んで來たか

黒を澤山磨れ

半紙の下に野紙を敷いて、風に飛ばないやうに

文鎮で壓へて置きなさい

手本をよく見て、心を籠めて書いて見なさい



\*練習、淨書、  
\*清書  
\*休紙  
\*圖畫、景致

\*空冊、井間

\*筆筒

\*試驗

\*掃除

\*一學期、成績  
發表

\*通知簿、終業  
式

- 44 ズラを、突突ちつしよ
- 45 \*練習を多々あつて、\*清書(\*清書)をしなさい
- 46 \*休紙を散かしてはいけません
- 47 \*道化時間には、\*外に出て、\*景色を描いて見ま  
しだ
- 48 \*空冊、\*井間を、\*先生の話をよく聞きなさい
- 49 \*筆筒を、\*包む時に、\*筆入を忘れないやうにしな  
さい
- 50 \*試験をやりなさいから、よく勉強しなさい
- 51 \*掃除を奇麗にしなさい
- 52 \*先づ、はたきで塵を拂ひなさい
- 53 \*雑巾をしつかり搾つて、拭きなさい
- 54 \*明日は、一學期の試験成績を發表するから、早  
くお出でなさい
- 55 \*通知簿を渡した後で、終業式をしませう
- 56 \*式

- 44 ズラを、突突ちつしよ
- 45 \*練習を多々あつて、\*清書(\*清書)をしなさい
- 46 \*休紙を散かしてはいけません
- 47 \*道化時間には、\*外に出て、\*景色を描いて見ま  
しだ
- 48 \*空冊、\*井間を、\*先生の話をよく聞きなさい
- 49 \*筆筒を、\*包む時に、\*筆入を忘れないやうにしな  
さい
- 50 \*試験をやりなさいから、よく勉強しなさい
- 51 \*掃除を奇麗にしなさい
- 52 \*先づ、はたきで塵を拂ひなさい
- 53 \*雑巾をしつかり搾つて、拭きなさい
- 54 \*明日は、一學期の試験成績を發表するから、早  
くお出でなさい
- 55 \*通知簿を渡した後で、終業式をしませう
- 56 \*式

課題帳  
 夏期休暇、利用、海水浴、希望、兒孫  
 缺席、欠席、遅刻、遅参、早退、注意  
 始業式、訓話  
 家庭訪問  
 學藝會、兼、父兄會、母姊會  
 智慧  
 才操、才幹、手工  
 洋  
 卒業式、地方有力者  
 修業式  
 來賓、學父兄、休憩室  
 引導

- 57 과제장도, 다, 나노아주시오  
 58 하귀휴가를리용하야, 해수욕에가랴고, 희망하는아해가멋친가, 무려보시오  
 59 너는결석(홀석)은업식도, 지각(지참) 죠 퇴가잇스니, 주의하여라  
 60 시업식을할썬에, 교장의훈화가잇겜소  
 61 가당방문을합시다  
 62 학네회를검하야, 부형회와모스회를업시다  
 63 지혜스려운아해는, 말도잘하오  
 64 지조(지간)가잇셔서, 수공을, 석잘하는고  
 나  
 65 양춤도, 잘추고, 노래도잘하오  
 66 졸업식에오시랴고, 디방유력자에, 통지하여주시요  
 67 수업식도, 합예합시다  
 68 리빈과학부형의, 휴게실을명하야주시요  
 69 손님을, 잘, 인도하여다오

課題帳も皆配つて下さい  
 夏期休暇を利用して、海水浴に行くことを希望する子供が、何人が聞いて見なさい  
 お前は缺席はないが、遅刻、早退があるから、注意せよ  
 始業式の時に、校長の訓話がある筈です  
 家庭訪問をやりませう  
 學藝會を兼ねて、父兄會と母姊會を開きませう  
 賢い子供は、お話もよくやります  
 器用で手工が大變うまいもんだな  
 ダンスもよくやり、歌もよく出來ます  
 卒業式にお出で下さる様に、地方の有力者に通知して下さい  
 修業式も一緒にやりませう  
 來賓と父兄の休憩室を定めて下さい  
 お客様をよく案内して呉れ

講堂\* 風琴\* 進級\* 證書、賞狀\* 學業、優等、行實、篤實、賞品、授與\* 子弟\* 大學、作定、高等普通學校\* 學費\* 寄宿舍、費用\* 授業料、每朔三圓、十日以內\* 一家、通學\* 教育研究會、計畫

- 70 모도、강당으로 모여라  
 71 피아노(풍금)를, 바로노아라  
 72 너의들은, 다진급하게 되여서, 미우깃부깃다  
 73 증거와 상장을 받았으시요  
 74 이아히는, 학업도 우등이고, 형실도 독실한 외  
 닭으로, 특별히, 상품을 수여하겠소  
 75 스데를, 엇던 학교에, 보내시랍닛가  
 76 대학까지 보내라고, 작당하얏스닛가, 고등보  
 통학교로, 보내겠습니 다  
 77 한달 학비는, 얼마나 들겠습닛가  
 78 학교기숙사에 너시면, 비용이, 월신, 적게 걸  
 님니다  
 79 수업료는, 매삭 삼원 식인디, 십일이 너로 증슈  
 하오  
 80 일가집이 잇스닛가, 통학을, 식히겠습니 다  
 81 교육연구회를, 계획합시다

皆講堂に集れ  
 피아노(オルガン)を眞直ぐに置け  
 お前達は、皆進級が出来るから、嘸ぞ嬉しいだ  
 らう  
 證書と賞状を受取りなさい  
 この子供は學業も優等だし、品行も方正だから  
 特別に賞品を授與致しませう  
 お息をどんな學校へお出しになる積りですか  
 大學まで出すここに、定めて居りますから、高  
 等普通學校へ入れる積りです  
 一個月の學費は何程かかりませうか  
 學校の寄宿舍にお入れになるこ、費用がずつこ  
 少くかかります  
 授業料は、毎月三圓宛ですが、十日以内に徴收  
 します  
 親類の家がありますから、通學させる積りです  
 教育研究會を計畫致しませう

道徳教育、研究、發表

研究教授、批評

參觀人

學校經營、訓練、養護

茶禮、歲拜、一家

過歲、安寧

82 당신은, 도덕교육에 대하여, 연구 발표를 해주

시요

83 연구교수를 할 터이니, 비평을, 만히 해주시요

84 참관인이, 만히 올 터이요

85 학교경영이며, 훈련양호에 대해서도, 말씀해 주시요

第四節 人事

1 차례를 지낸 뒤에, 체비하러, 일가집에, 단야 하겠소

2 인제, 절늘하겠스니, 안즈십시오

3 과체안녕히, 하섯습닛가

4 해가, 바귀여셔, 얼마나, 김부시오

あなたは、道徳教育に對して、研究發表をやつて下さい

研究教授をやりますから、十分批評をして下さい

參觀人が澤山來る筈です

學校經營や、訓練養護に對しても、お話しして下さい

茶禮を済ましてから、年始に、親戚の家に行かなければなりません

(茶禮は元日に先祖の位牌を拜する式なり)

これから拜むんですから、お坐りなさい

歳を安寧にお過しになりましたか(明けまして)

お目出度ございます)

歳が更つて(明けまして) お目出度うございませ

す

5 네나히、몇살이되었느냐

6 시해로、열한살이、되었습니다

7 <sup>\*</sup>춘부장년치는、얼마나되었소

<sup>\*</sup>春府丈、年歲

8 을의、진감이올시다

9 첫달음음날에는、묵은죄비를하러단기오

10 오늘은、<sup>\*</sup>성신(성진)<sup>\*</sup>날이기로、뵈오려왔습

니다

11 이처럼、잊지안코、차켜주시니、<sup>\*</sup>감사합니다

<sup>\*</sup>感謝

12 그치、택이、인스등이오닛가

<sup>\*</sup>仁寺洞

13 네、그렇습니다、<sup>\*</sup>언제한가하신쎄、<sup>\*</sup>놀너오십

시오

14 한번、<sup>\*</sup>희사하러가겠습니다

15 잘먹고갑니다

16 이번에、<sup>\*</sup>득남을하섯다하니、<sup>\*</sup>얼마나、<sup>\*</sup>깃부십

닛가

17 <sup>\*</sup>고등분관시험에、<sup>\*</sup>급테가되섯다하오니、<sup>\*</sup>치하

<sup>\*</sup>高等文官試驗  
及第、致賀

お前は年が幾つになつたか

新年で(明けて)十一歳になります

お父さんのお年はお幾つですか

今年が還曆の翌年(六十二歳)であります

大晦日には、年末の挨拶に廻ります

今日は、御誕生日ですから、御挨拶に上がりま

した

この様に、お忘れなく、お訪ねて下さつて有難

うございます

今でも、お宅は仁寺洞でございますか

はい左様でございます、何時かお暇のとき、お

遊びにお出で下さい

一度お禮にお伺ひ致しませう

よく食べて歸へります(御馳走様でした)

今度坊ちゃんがお生れになつたさうですが、御

目出度う御座います

高等文官試験に及第なされたさうですが、お悦

德澤\*

합니다

18 여러분의, 덕택이옵시다, 치하하실것, 무엇

잇습닛가

榮進、感祝\*

19 영진늘하시치, 얼마나 감축한지, 모르겟습니다

人事、感謝\*

20 이치림, 멀니오시치, 인스를하야주시니, 감

샤합니다

餞送、餞別\*

21 켄송 (켄별) 하고오겟습니다

迎接\*

22 영첩 (마중) 나갑시다

中\*

23 밧부신중에, 이치림, 일부터, 멀니나와주시

니, 무엇이라고, 감사한말삼을, 올녇스면쵸  
홀는지, 몰으겟습니다

遠路\*

24 율로에, 안녕히가십시오

鄭進士、病患  
入院、問病\*

25 덩진스가, 병환으로, 입원늘하섯다하니, 문

병하고, 오너라

苦生\*

26 병환으로, 얼마나, 고성늘하십닛가 (병환이

증, 엇더십닛가)

大端\*

27 그리, 대단치는안습니다

び申し上げます

皆様のお蔭で御座います、お祝に及びません

御榮進なさいまして、深くお祝ひ申し上げます

こんなに、態々遠方からお出で下さつて、有難

う御座います

見送りをして参ります

出迎へに行きませう

お忙しいのに、こんな態々遠くまでお出で下

さつて、何ぞお禮を申し上げてよいか分りませ

ん

遠路御機嫌よくいらつしやいませ

鄭進士が御病氣で、入院なさつたそうだから、

見舞に行つて來い

御病氣で、嚙てお困りで御座いませう (御病氣

は如何でございますか)

別に大したことはありせん

千萬多幸

醫師、一週日  
退院

28 千萬多幸

29 醫者の話し、一週間もしたら退院せよ云  
はれました

30 非常にお喜ばしう御座います

それは何よりでございます  
醫者のお話では、一週間もしたら退院せよ云  
はれました  
非常にお喜ばしう御座います（それは結構で  
御座います）

牛乳

31 此の頃、何をお上がりになりますか

32 昨日までは重湯ご牛乳だけ食べて居ましたが、  
今朝から、御飯を食べましたが、非常に美味し  
うございました

33 御機嫌を伺ひに参りました  
この上ごも十分御養生なさいませ

調攝

問安

34 御機嫌を伺ひに参りました

35 暫らく會はなかつたが、ここかへ行つて來たの  
か

36 私の郷里へ行つて参りました

37 皆變りはなかつたか

38 はい皆元氣です

39 轉宅のお見舞に参りました

無故

この上ごも十分御養生なさいませ  
御機嫌を伺ひに参りました  
暫らく會はなかつたが、ここかへ行つて來たの  
か  
私の郷里へ行つて参りました  
皆變りはなかつたか  
はい皆元氣です  
轉宅のお見舞に参りました

兩親\* 侍下\* 具慶下\* 慈親、作故、嚴侍下\* 慈侍下\* 永憾下\* 重侍下、祖父母\* 同生\* 五男妹\* 兄弟、雁行\*

- 40 시집에 들으셔서, 얼마나, 깃부십닛가  
 41 량친이 계시냐  
 42 시하올시다 (부모가, 다 계십니다)  
 43 구경하오닛가  
 44 아니올시다, 즈친은, 일즉작고하셔서, 엄시하올시다  
 45 즈시하올시다  
 46 영감하올시다  
 47 할아버지와, 할머니가, 다 계시냐  
 48 증시하올시다 (조부모가 다 계십니다)  
 49 네동성이 몇처냐  
 50 오남의이온대, 케밋흐로는, 사내동성이들, 녀동성이 하나올시다  
 51 형네는, 몇분이시오 (안형이, 몇분이시오닛가)  
 52 삼형제인데, 내가 웃이올시다

新宅へお入りになつて、お喜ばしうございませう  
 兩親があるか  
 侍下です (父母が皆居ります)  
 御兩親共居られますか  
 いゝえ、母は早く亡くなつて、父ばかり居ります  
 母だけ居ります  
 父母が皆亡くなりました  
 祖父や祖母が皆居るか  
 重侍下です (祖父母も父母も皆居るこ云ふ義)  
 お前は弟が何人か (弟が何人あるか)  
 五人兄弟ですが、私の下には、弟が二人、妹が一人居ります  
 御兄弟はお何人ですか  
 三人兄弟ですが、私が一番下でございませう



伯氏\*

53 빅씨와 (형님과) 갖치게 십닛가

仲氏\*

54 큰형님과, 갖치잇습니다

仲兄\*

55 중씨는, 따로, 사십닛가

子弟\*

56 중형은, 시골가게 십니다

子息\*

57 즈데는, 다, 학교에 단김닛가

夫人、内相\*

58 큰스식만 단김니다

夫人、内相\*

59 부인 (내상) 예셔도, 안녕하십닛가

第五節 冠婚・喪祭

朝鮮風俗、冠禮、兒名(명)、冠名

1 도천풍속에는, 관례한뒤에, 이명을갈고, 관

戶籍法、施行、出生申告

2 호적법이 시행된뒤로는, 출성신고할썬에, 관

待接\*

3 관례한뒤에는, 어른대접을받으오

盛行\*

4 근리, 머리를썬근후로는, 그리, 성행되지아

實名、詞堂\*

5 관례를행하는법은, 실명을짓고, 스당에 고유

冠禮を行ふ儀式は、實名をつけ、氏神に告げた

冠禮を行ふ儀式は、實名をつけ、氏神に告げた

冠禮を行ふ儀式は、實名をつけ、氏神に告げた

冠禮を行ふ儀式は、實名をつけ、氏神に告げた

冠禮を行ふ儀式は、實名をつけ、氏神に告げた

一番目の兄さんご、一緒に居られますか

一番目の兄と一緒に居ります

二番目の兄さんは、別居して居られますか

二番目の兄は、田舎に往つて居ります

御子さんは、皆學校に行つてお出で、すか

長男だけ行つて居ます

奥様もお變りでございせんか

祭

朝鮮の風俗では、元服後幼名を改めて、冠名(本名)を使ひます

戶籍法が施行せられてからは、出生申告をする時に、冠名をつけます

冠禮を行ふた後は、大人の待遇を受けます

近來髪を切るやうになつてからは、そんなに盛に行はれません

冠禮を行ふ儀式は、實名をつけ、氏神に告げた

告諭

子弟、丈家

年前、婚姻、  
或婚

查家

查丈、查頓

銀行、頭取

貞淑

姻父母、家長  
操心、貌様

正初、親庭

丈人、岳父、  
丈母、聘母

福童、外家宅

外孫子

棚\*

한뒤에, 잔치를합니다

6 <sup>\*</sup>즈데를장가를보내섯습닛가

7 <sup>\*</sup>년컨에, 혼인(성혼)하얏습닛가

8 <sup>\*</sup>사가는어뵈닛가

9 <sup>\*</sup>샤장(샤돈)은, 무엇을하십닛가

10 <sup>\*</sup>은형의, 두취로잇습닛가

11 <sup>\*</sup>메누님이, 덩숙하시다지요

12 <sup>\*</sup>식부모와가장을, 조심하야심기는모양이을시

다

13 <sup>\*</sup>청초가되엿스니, 메누리를친뎡에보내시다

14 <sup>\*</sup>너도, 친와갓치가척, 장인(약장)장모(빙

모님)를, 뵈고오니라

15 <sup>\*</sup>복동이는, 학교에갓다가, 바로, 외가뵈에단

겨오니라

16 <sup>\*</sup>사위와, 외손즈가왔스니, 대접을, 잘하야

하겟소

17 <sup>\*</sup>싸님을, 아즉식집보내지안앗지요

後に、酒盛を致します

御子息は結婚なさいましたか

先年結婚致しました

お嫁さんの里はどこですか

お嫁さんの父は、何をして居られますか

銀行の頭取で御座います

お嫁さんは、貞淑だそうですね

舅姑や夫に、よく事へるやうです

正月だから、嫁を里に歸ませう

お前も、妻と一緒に رفتて、妻のお父さんや母

さんに、お目にかかつてお出で

福童は、學校の歸りに、お母さんの里に رفتて

來い

婚や外孫が來たから、接待をよくしなければな

りません

お嬢さんは、まだお嫁におやりにならんでせう

\*過年、念慮、  
婚處、仲媒、  
紹介

\*求婚、子息

\*結婚

\*吉日、擇、成禮

\*内外賓客、請

\*送彩、納彩

\*新婦、婚書紙

\*形勢、家勢

\*新郎、父親、  
新婦、片紙

\*婚禮式、結婚  
式、舉行

18 過年해커서、<sup>\*</sup>념려가되오니、<sup>\*</sup>맛당한<sup>\*</sup>혼처가잇

거든、<sup>\*</sup>증미(소기)하야주십시요

19 다름대、<sup>\*</sup>구호할것이아니라、<sup>\*</sup>내아들(스식)

과<sup>\*</sup>즐<sup>\*</sup>혼합시다

20 조<sup>\*</sup>흔날<sup>\*</sup>맞아서(길일을<sup>\*</sup>택<sup>\*</sup>하야)、<sup>\*</sup>성례합시다

21 <sup>\*</sup>니외빈<sup>\*</sup>객을、<sup>\*</sup>만히<sup>\*</sup>청<sup>\*</sup>합시다

22 <sup>\*</sup>송치(남치)는、<sup>\*</sup>혼인<sup>\*</sup>전날<sup>\*</sup>척<sup>\*</sup>택<sup>\*</sup>에、<sup>\*</sup>보내는<sup>\*</sup>범

이요

23 무엇을보<sup>\*</sup>니<sup>\*</sup>요

24 <sup>\*</sup>신부의<sup>\*</sup>치<sup>\*</sup>마<sup>\*</sup>감<sup>\*</sup>과、<sup>\*</sup>혼처<sup>\*</sup>지를、<sup>\*</sup>보내는<sup>\*</sup>것이요

25 이외에、<sup>\*</sup>형<sup>\*</sup>치(가<sup>\*</sup>치)를<sup>\*</sup>따<sup>\*</sup>라、<sup>\*</sup>물<sup>\*</sup>건을<sup>\*</sup>보<sup>\*</sup>니<sup>\*</sup>는

일도<sup>\*</sup>잇<sup>\*</sup>소

26 혼처지<sup>\*</sup>라<sup>\*</sup>하<sup>\*</sup>는<sup>\*</sup>것은、<sup>\*</sup>신<sup>\*</sup>랑의<sup>\*</sup>부<sup>\*</sup>친<sup>\*</sup>이、<sup>\*</sup>신<sup>\*</sup>부<sup>\*</sup>의<sup>\*</sup>부

친<sup>\*</sup>의<sup>\*</sup>게<sup>\*</sup>보<sup>\*</sup>니<sup>\*</sup>는、<sup>\*</sup>편<sup>\*</sup>지와<sup>\*</sup>갓<sup>\*</sup>혼<sup>\*</sup>것이요

27 <sup>\*</sup>혼례<sup>\*</sup>식(즐<sup>\*</sup>혼<sup>\*</sup>식)은、<sup>\*</sup>어<sup>\*</sup>되<sup>\*</sup>쳐<sup>\*</sup>거<sup>\*</sup>행<sup>\*</sup>합<sup>\*</sup>닛<sup>\*</sup>가

28 <sup>\*</sup>신<sup>\*</sup>랑<sup>\*</sup>이、<sup>\*</sup>식<sup>\*</sup>시<sup>\*</sup>집<sup>\*</sup>에<sup>\*</sup>가<sup>\*</sup>쳐、<sup>\*</sup>례<sup>\*</sup>식<sup>\*</sup>을、<sup>\*</sup>행<sup>\*</sup>합<sup>\*</sup>니다

29 <sup>\*</sup>례<sup>\*</sup>식<sup>\*</sup>을、<sup>\*</sup>엇<sup>\*</sup>더<sup>\*</sup>케<sup>\*</sup>행<sup>\*</sup>합<sup>\*</sup>닛<sup>\*</sup>가

歲をこり過ぎて、心配ですから、良縁があつたら、お世話下さい

餘所に縁談を求めないでも、私の子供に結婚させませう

せませう

吉日を擇んで、式を擧げませう

男女のお客を、澤山招待しませう

結納は、結婚の前日の暮れ方に、送る習慣です

何を送りますか

何を送りますか

新婦の裳地、婚書紙を送るのです

この外、家の貧富の度に従つて、品物を送ることもあります

こもあります

婚書紙と謂ふのは、花婿の父が、花嫁の父に送

る手紙の様なものです

結婚式はここで舉行しますか

花婿が花嫁の家に行つて、禮式を行ふのです

禮式をどんな風に行ひますか

奠雁、醴禮

30 : 奠雁을드리고난뒤에、초례를합니다

奠雁の式が済ましてから、三々九度の盃を致します

舅父母

31 신부는、가마를타고、신랑집에가시、식부모  
를뵙니다

花嫁は駕に乗つて、花婿の家に行つて、舅姑に會ひます

新房

32 그날、다시식시집에와시、신방을쳐투오

婦德、稱頌、藉々

33 부덕이:좃타고、칭송이:자々합니다

その日、再び嫁の家に歸つて、その夜を過します  
い、嫁だまいつて、評判が大層宜しう御座いま  
す

兩主、誼

34 양주의의가、미우:좃소

夫婦の仲が非常に好いです

早婚

35 조훈의폐가:업도록、하여야하오

早婚の弊が無くなる様にしなければなりません

崔判書、弔喪  
弔問

36 최판서가、도라갓다하니、묘상(묘문)\*하고  
오너라

崔判書(大臣)が亡くなられたそうだから、悔  
みに行つて來い

弔客

37 묘식이、만히와소

弔客者が澤山參りました

春府丈、別世  
罔極

38 춘부장예식、별세하시시、오죽、망극하시겠  
습닛가

お父さんが、お隠れになつて、嗚ぞ御愁傷でござ  
いませう

喪事、當、變

39 상수를당하섯다하오니、그런변이:어디잇습닛  
가

御不幸があつたそうですが、飛んでもない事で  
御座います

病患、沈重

40 병환이、침중하신단말삼은、드리습니다만은

御病氣が大變重いこと云ふことは、承つて居りま



山所\*

火葬\*

先塋\*

家族集葬地、認可、共同墓地、遷墓

小祥、祭祀

大祥、二週年

盤器\*

喪主\*

脱喪、居喪

忌祭祀\*

祭需錢\*

運動\*

帽子\*

51 산소자리는보춧소\*

52 화장을하는것이、엇혀합닛가\*

53 덕선영이、어대오닛가\*

54 가족집장다의인가가낫스니、공동묘지에셔、  
친묘를하여야하겠소\*

55 소상은、일년만에、지내는죄소요\*

56 대상은、이주년만에、지내오\*

57 대상반괴를、가귀와소\*

58 상주가되면、삼년간은、흰옷을납고、대상을  
지내면、탈상늘하오(거상을버스오)\*

59 괴죄스는、대상후에、해마닥、지내는것이요\*

60 죄슈권을、갓다되려라\*

第六節 衣服

1 옷을、납으시오

2 운동할때는、두루막이를버스시오\*

3 모자를、꼭바로、쓰시오\*

墓地を定めましたか

火葬してはごうですか

お宅のお墓はどこですか

家族集葬地が、認可になつたから、共同墓地から、墓を移さなければなりません

小祥は一年目に行ふ法事です

大祥は二週年目に行ひます

大祥法事の供物を持つて來ました

父母が死ぬこ、三年間白い衣服を着、大祥を済ませるこ、忌明になります

忌祭祀は、大祥後毎年行ふものです

祭りの供物料を持つて行つて上げろ

着物を着なさい

運動する時には、周衣ツルマキを脱ぎなさい

帽子を眞直ぐに被りなさい

房内\*

4 袴ハカマ、袴ハカマ 안에 서도, 쓰는 것이 다만은, 모스는 버셔야 한다

5 신(신발)을 벗고, 쥔신(스리파)을 신으시오  
6 날이 서엿스니, 어서 일어나서, 이부자리를 개(개여)언저라

作亂\*

7 이불속에 서, 작난작난 말고, 어서 옷을 넘어라  
8 버기도, 잘갓다 두어라

9 허리띠를, 단단히 매야, 띠무시(맷시)가 허순치안다

10 다님늘, 어되다 두엇느냐, 차켜매여라

洋襪양말(正音)

11 양말이 서러컷스니, 버신늘신으려무나  
12 저고리를, 굵히워면(입으면) 옷이 더진다

13 脛脛을 하고, 슈건으로, 얼골을, 싹싹 씻어라

14 옥희는, 머리를 빗고, 시당기를 되려라

15 구두약칠을 해서, 구두를, 잘다거신어라

16 구두가, 벌서, 쪼렷케 되얏느냐, 좀앗거신어

라

冠冠は、部屋の中でも被つて居るものだが、帽子は脱がなければならぬ

履物履物を脱いで、スリッパをお履きなさい

夜夜が明けたから、早く起きて、夜具夜具を疊んで片付けよ

蒲團蒲團の中で、悪戯悪戯をせずに、早く着物を着ろ

枕枕もちやんこ仕舞つておけ

帯帯をしかつり締めないこ、だらしがないよ

脚紐脚紐はごこへ置いたのか、探して来て結べ

靴下靴下が破れたから足袋足袋を履いたらさうだ

上衣上衣を急いで着るこ着物がほころびるよ

顔顔を洗つて、手拭手拭で、顔をしつかり拭け

玉姫玉姫は髪髪を梳梳いて新しいリボンをつけよ

クリームクリームをつけて、靴靴をよく磨磨いて履履け

靴靴が、もうあんなになつたのか、少し大事にし

て、履履かなくちゃ不可いかん

藥漆\*

玉姫\*

洗手、手巾\*

運動\* 出入\* 宕巾\* 雨氣\* 雨裝\* 雨傘\* 朝鮮婦人\* 以前\* 近來、洋傘、雨傘\*

- 17 운동구두는, 어디다두었느냐  
 18 출입하겟스니, 갈아입을 옷을, 가시오  
 19 옷옷을, 가시오  
 20 감투 (탕건) 와, 갓을, 솔질하여 가시오  
 21 마른신을 노릿가, 진신을 노릿가  
 22 오늘은, 우리가 잇스니 (비가 올 듯 하니), 고무 신을 버시오  
 23 우장옷을 입고, 가시오  
 24 우산 밧고가 거라  
 25 갓무와 우산만 주시오  
 26 뚝부인들이, 나들이 할 때에는, 무엇을 쓰오  
 27 이전에, 서울부인네들은, 치마나, 장옷을 쓰더니, 근리와서는, 양산 (우산) 을 쓰고 단갑

第六節 衣服

運動靴はごこに置いたか  
 外出するから、着替を持つて來なさい  
 周衣 (上衣) を持つて來ませうか  
 宕巾や冠に、ブラシを掛けて、持つて來なさい  
 「乾靴」を出しませうか、「泥靴」を出しませうか  
 (「乾靴」は道のよき時に、「泥靴」は道の悪しき時に用ふる靴なり)  
 今日には雨模様ですから、ゴム靴を出して置きなさい  
 雨具をつけてお出でなさい  
 傘をさして往け  
 冠の掩ひも傘だけ下さい  
 朝鮮婦人達が、外出する時には、何を被りますか (나들이는婦人の外出にいふ)  
 以前は、京城婦人達は、女袴か又は長衣かつきを被りましたが、近頃になつては、洋傘をさして歩き



니다

28 시골부인은, 흔히, 맨머리드단깁니다

29 엇던디방에서는, 슈건을쓰며, <sup>\*</sup>홍희항도쓰며 <sup>\*</sup>삭갓도쓰는데가있지요

30 신은, 무슨신들, 신읍닛가

31 도회디젊은부인들은, <sup>\*</sup>꽃당혜를, <sup>\*</sup>만히신읍니다

村女子

32 <sup>\*</sup>촌녀스들은, 짐신을, 늘, 신읍니다

33 구두한벌을, 맛춥시다

34 엇던구두를, 신으시랍닛가

黑色、編上靴

35 <sup>\*</sup>흑식 (검청) 쇠양복슈로, <sup>\*</sup>편상화를하겟읍니다

相關

36 갑시, <sup>\*</sup>얼마상관이안되니, 차깃도로 「후가고

무」로하십시오

模樣、半佛式

37 그러면, <sup>\*</sup>모양은, <sup>\*</sup>반볼식으로하고, 코에는

「이나멜」을칠하여주시오

ます

田舎の婦人は、多く丸頭で (何もかぶらずに) 歩きます (맨발 || <sup>ほたし</sup> 跣足)

或る地方では手拭を頭に巻き、或は頭巾を被つたり、蘆の笠を被る處もあります

履物は何んな履物を履きますか

都會地の若い婦人達は、花唐鞋 (唐草模樣のある靴) を多く履きます

田舎の女子達は、藁靴を平素履きます

靴一足誂へませう

ごんな靴をお履きになりますか

黑色の西洋ボックスで、編上に致しませう

値段は幾らも違ひませんから、茶のキツトで深

ゴムになさいまし

それでは、型は半佛國式にして、尖にはイナメルを塗つて下さい



시오

53 바지할명주도, 한필가귀오시오

54 드림던 (포목던) 이어되오

55 적귀, 마즌편에, 보이는, 큰간판 (현판) 을 단집이올시다

56 빗갈 (빗) 조흔것을주시오

57 각식식실과, 무명실늘, 한타레식주시오

58 이분홍식실은, 투식이 되었스니, 식갈 조흔것을주시오

59 이비단은, 흙이잇스니, 밧귀주시오

60 날이더워셔, 핫옷은무거우니 (더우니), 겹옷을주시오

61 모시호두루마기를넘으시오

62 인케는, 망건은, 소용이업게되었소

63 갓을바로쓰시오

64 갓냥이너무넓으니, 갓방에가셔, 주려다주시오

오

來て下さい

袴ハチを拵つむぎへる紬つむぎも、一疋持つて來なさい

吳服屋はどこですか

彼處の突當りに見える、大きな看板を掛けた家です

色合のよいのを下さい

各種の色絹絲ミ、木綿絲を一束宛下さい

この薄桃色の絲は、褪せて居るから、色合のよいのを下さい

此の緋緞ヒズナは傷がありますから、取替へて下さい

天氣が暑くて、綿入は重いから (暑いから) 裕を下さい

苧麻の單衣周衣を着なさい

只今では、網巾は入らなくなりました

冠を眞直ぐに冠りなさい

冠の縁かまちが廣過ぎるから、冠屋に行つて少し狭めて貰つて下さい

房\*

網巾、所用

欠\*

粉紅色、透色

各色

便、看板、懸板

布木塵

明紬

纓子\*  
 紗帽、様  
 喪制、方笠  
 白丁\*  
 老長、上弟  
 兒孩、幅巾  
 朝鮮禮服  
 通常禮服、別  
 女子禮服  
 女人、老少間  
 或、男子  
 防寒用  
 風遮\*

- 65 갓끈에 귀영즈가, 삐켓소
- 66 샤모쓴양으로, 샤진을백입시다
- 67 상취가되면, 방립(방갓)을쓰오
- 68 페랑이는, 빅딩이나, 상두꾼들이쓰오
- 69 로장중은, 송낙을쓰고, 상테중은, 꽃갈을썼소
- 70 아히들이, 복건을쓰면, 터욱엿부오
- 71 도천례복은, 엇더한것입닛가
- 72 통상례복은, 별노업스나, 두투막이입는것이 레을시다
- 73 녀스레복으로는, 치마을시다
- 74 녀인들이, 로소간에, 애얍, 흥은조박이를쓰니, 이것은, 남스의갓과, 갓흔것이요
- 75 아니을시다, 방한용으로쓰는것이을시다
- 76 그리면, 사나히의풍차나, 남바귀와갓쳐, 추

第六節 衣 服

冠の紐の環くわんが取れました

紗帽を冠つた姿で寫眞を寫しませう

喪に服するに方笠を冠ります

「ペランイ」は、穢多か棺をかづく者達が、冠ります

老人の僧は「松衲」を冠り、弟子僧は「コツカル」を冠つて居ます

子供達が、幅巾を冠るに、一層可愛なしいです

朝鮮の禮服にはこんなものがありますか

通常禮服は別にありませんが、周衣を着るのが禮であります

女子の禮服としては、裳チャであります

婦人達は老若を問はず「エヤム」或は「チヨペキ」を冠りますが、これは男子の冠と同じ意味のものですか

い、え、防寒用として冠るのであります

それでは男の「風遮」や「ナンパキ」も同じく

올때만 씌웁니다

77 그러합니다

78 혼인 때에는, 신랑은, 관복을 입고, 신부는, 원삼이나, 당의니, 활옷이라 하는 것을 남시오

79 상주가 (상인이) 되면, 벼옷을 남으니, 겨울

에도, 그것을 남습닛가

80 그것은, 상복 (제복) 이라 하는 것인데, 아모

떠나, 남고 있는 것이 올시다

81 네 권에, 관복 (관리레복) 으로는, 무엇무엇

을 남었습닛가

82 소례복도 남고, 대례복도 남었스며, 사모관대

를 하얏습니다

83 남흔 지상은, 금관 조복을 남었습니다

84 지금은, 레복으로, 무엇을 남었습닛가

85 연미복을 남고 「시투구화도」를 씌웁니다

86 「후복고」도 는, 레복이 안인가요

87 네, 그것은, 통상레복이 올시다

寒い時だけ冠るのですか

そうで御座います

婚姻の時には、花婿は官服を着、花嫁は圓衫だ

の、唐衣だの、活衣だの云ふものを着ます

父母が死ぬこ、麻の着物を着ますが、冬でもそ

れを着ますか

それは喪服云ふもので、何時でも着て居るも

のでございます

昔官吏の禮服としては、何何を着ましたか

小禮服も着、大禮服も着、紗帽を冠り官帶をし

めて居りました

大官は金冠朝服を着ました

只今は禮服として何を着ますか

燕尾服を着て「シルクハット」を冠ります

「フロックコート」は禮服ではありませんか

はい、それは通常禮服であります

\*通常、禮服

\*燕尾服

\*只今、禮服

\*宰相、金冠朝服

\*小禮服、大禮服、紗帽官帶

\*官服、官吏禮服

\*喪服、祭服

\*喪主、喪人

\*婚姻、新郎、官服、新婦、圓衫、唐衣、活

紳士、中山帽

88 신사들이, 증산모에다가 「모닝구」를 남고단

기니, 이것은, 레복이안인가요

89 그것은, 평복이라고 할수잇지요

90 「체비로」양복과, 달음이업습니다

91 「죏기」에 단추가싸졌스니, 달아주시오

92 「쓰메에리」는, 군인이나, 직공들이, 만히남  
읍니다

읍니다

和服

93 화복으로는, 무슨옷이, 레복인가요

94 「하오리」「하가마」가 레복이올시다

95 스프러운테를, 가라면 「몬쓰기하오리」를 남  
읍니다

읍니다

96 「유가다」는 미우편리한의복인데, 녀름한철은  
더욱죏습니다

더욱죏습니다

97 도선옷한벌에, 갑시얼마나되나요

98 옷감에 달녘습니다

99 무명이나, 쇠양복(당복)으로하면, 일습에  
한십원이나 듭니다

\*西洋木、唐木  
一藝、十圓

紳士達が、山高帽にモーニングを着て歩きますが、これは禮服ではありませんか

それは、通常服云ふここが出来ます

背廣と違ひはありません

チヨツキの釦がこれだから、附けて下さい

詰襟は、軍人や職工等が、多く着る様です

和服では、ごんな着物が、禮服ですか

羽織袴が、禮服であります

あらたまつて行くやうな處には、紋付羽織を着  
ます

ます

浴衣は甚だ便利な着物ですが、夏の季節には、

殊によろしうございます

朝鮮服一と襲ねに、値段が幾ら位か、りますか

生地次第です

木綿か天笠木綿で作るに、一と襲ね約十圓か、

ります

100 것흔명<sup>\*</sup>주<sup>\*</sup>로하고, 안은무명으로하면, 이십원  
가량은들지요

101 도석으로남을옷이나, 당목으로, 짓겅습니다  
몸에, 꼭맞도록, 옷을, 잘지어주소

103 마구자와, 족기도, 썬여지시랴닛가

104 그리케하십시요

105 옷짓는슈공(삭)은, 얼마나되리면, 좃겅습  
닛가

106 모도, 삼원칠십원만, 내십시요

107 날이심히추우니, 솜을, 두겹게두어주소

108 솜옷은, 알내할썬는, 엇더케하오  
다, 썬어가지고, 알아썬, 풀을땀여, 다듬어  
지으면, 새것갓치됩니다

110 소매라든지, 저드랑이가, 터지지안도록, 단  
단히, 썬여매주소

表は明紬で作り、裏は木綿で作るこ、二十圓位  
はかゝります

朝夕着る衣服ですから、天笠木綿で拵へませう  
身からだにキツチリ合ふやうに、着物をよく拵へて下  
さい

「マクジャ」や「チヨツキ」も、序にお拵へに  
なりますか

そうして下さい

着物を拵へる手間賃は、幾らばかり上げたたらよ  
いでせうか

皆で三圓七十錢だけ下さい

大變寒いから、綿を厚く入れて下さい

綿入は、洗濯する時はごうしますか

皆解いて、洗つて糊をつけて、砧にかけて作れ  
ば、新しいのと同様になります

袖でも脇でも、破れないやうに、しつかり縫つ  
て下さい

111 :연케, 차키가시랍닛가

112 어셔님어야하겟스니, 아모썸룩, 속히하야주

시오

113 그러면, 바누질을속히해셔, 모레라도, 님으

시게, 하겟습니다

114 켜번에맏긴옷은, 다되엿습닛가

115 바늘은뵈엿습니다만은, 다름이질을, 아즉아

니하얏습니다, 잠간기다려주시오

116 다른곳에단녀올러이니, 다려노와주시오

117 당신옷은, 님은모양이 (맏시가) :조흐니, 누

가지엿소

118 인동지봉소에다가, 마추어넙엿습니다

119 쌀으지도안코, 길지도안하셔 (아니하여) 솜

씨가용하오

120 길이와, 풀과, 화장이, 알맛습닛가

121 치마주름이러켓스니, 주름삼겟다, 바늘과국

何時取りに來られますか

早く着なければなりませんから、出来るだけ速

くやつて下さい

それでは、裁縫を急いでして、明後日でも着ら

れるように致しませう

先達て誂へた着物は、出来上りましたか

縫ふ方は濟みましたけれど、火熨斗は未だかけ

てありません、少しお待ち下さい

他處へ寄つて來ますから、火熨斗をかけて置いて下さい

て下さい

あなたの着物は、恰好が好うございますが、誰

が縫つたんですか

安洞裁縫所へ誂へて作りました

短くもなく、長くもなく、手際よく出来て居ま

す

丈身や、胸や、衿が丁度合ひますか

裳の襷が破れたから、ひだを取るのだ、針と太



은실을, 가키오너라

122 행주치마가 커컷스니, 갈아입으려무나

123 그러지안아도, 너무더러워서, 갈아입으라고

하얏습니다

124 가름옷이, 만히잇나

125 향나진솔두루막이를, 헛대어걸어라, 구길

(구길살)삼힐나

126 속옷이, 샬에 커컷스니, 발아말너주시오

127 옷은, 아모쪼록, 단청히 넘어야한다

128 단추가 떠러지거든, 즉시달어넘어라

129 일을 할 때에는, 소매와 가랑이를, 활신것고,

시원스럽게 해야한다

130 의식(례식) 때에는, 청한의복을 입는 것이,

례법이오

131 외투가, 너무 길면, 칠링칠링할 현아니라, 층

계에 올라갈 때에는, 옷자락이, 밟히기 쉽소

い絲を持つてお出で

前掛が濡れて居るから、着替へてはごうだ

そうでなくとも、餘り汚れたから、着替やうこ

思つて居ました

着替が澤山あるかい

紺の新しい周衣を、衣紋竿に掛けて置き、皺が

よるよ

襦衣が汗で濡れたから、洗濯して乾かして下さ

い

衣服は、成るべくきちんこ、着なければならぬ

釦がこれたら、すぐつけて着ろ

仕事をする時には、袖やズボンの口を、ずつこ捲

くり上げて、甲斐々々しくやらなければならぬ

儀式の時は、清潔な衣服を着るのが禮であります

外套が餘り長いと、邪魔になる許りでなく、階

段を上るこまには、着物の裾を踏み易いです

方羅

端正 即時

儀式、禮式、淨、禮法

外套、層階

時體、  
貌樣

才操

法

豪奢

毛織

藥

看手

掌甲

儉素

常

132 너무, 시테를싸라쳐, 모양을내노라고, 외투

를, 강동하게, 해넘는것도, 못쓰겟습디다

133 마름질을잘해야, 옷모양이나는것ियो

134 그러습니다, 바느질지조가잇는사람은, 마름

질도잘하는범ियो

135 호사하노라고, 흰옷만남은, 좃쳐못한일이

요

136 모직은, 좀이먹기쉬우니, 각급, 벗을죄여야

하오

137 잘(갓)갑은, 무니, 녀름에는, 약을너어두

어서, 간슈를, 잘하여야하오

138 오늘은, 날이추으니, 장갑을끼고, 목도리를

하고단저라

139 옷은얇게남고, 아모썸록, 검소하게남는것이

죃소

140 힐던은, 처지아니할지언청, 풀대넘은, 하지

あまり流行を逐うて、氣取つて、外套を馬鹿に  
短く拵へて着るのも、宜くないことです

裁ち方を上手にやらなければ、着物の恰好がよ  
くありません

そうです、縫ひ方の上手な人は、裁ち方も上手  
なものです

贅澤して白い衣服許り着るが、よくないこと  
です

毛織物は、衣魚シマに食はれ易いから、時々日にあ  
てなければ不可ません

毛皮の着物は、毛が脱けるから、夏は藥を入れ  
て、保存をよくして置かねばなりません

今日は寒いから、手袋をはめ、襟卷をして歩け

衣服は、薄着をして、なるべく質素にするのが  
宜いです

脚絆は履かないまでも、足首を括くくらずに置くの

藤、藤吐手

141 마라, 상스럽다  
삼이흐르니, 등거리와, 등도수를외시오

は宜くない、下品だよ  
汗が流れるから、藤製の汗除き、藤製の腕貫を  
はめなさい

第七節 飲 食

壽童、學校  
早飯  
飯饌  
生鮮

1 오늘은, 슈등이가, 학교에, 일찍, 가는날이  
나, 아침밥(조반)을, 어서지여라  
2 반찬은, 무엇을할가요  
3 요새, 성천이조호니, 조괴를사다가, 국을술  
여라  
4 국이잇스니, 혼밤을지여라

今日は、壽童が學校へ早く行く日だから、朝飯  
を速くしろ  
副食物は何にしませうか  
此の頃は生魚がよいから、石首魚を買つて来て  
汁を拵へよ  
汁があるから白米飯を炊け  
(昏飯といふが正當なるも通常昏飯といふ)

床\*  
遷遷、急

5 밤이, 다되었느냐  
6 네, 다되었습시다  
7 그러면, 한상만, 어서가커오니라  
8 퉁퉁히먹어라, 급히먹으면, 목이메인다

飯が出来たか  
はい出来ました  
それでは、一膳だけ早く持つて来い  
ゆつくり食べよ、急いで食べるこ咽喉がつまる  
ぞ

食前\*

當身、食後\*

點心\*  
土曜日\*

9 아침이, 다 되얏거든, 내밥상도, 가귀오너라

10 진지잡수시오

11 더운승냥을가귀오너라

12 밥을, 다, 먹었스니, 상을치게

13 아즉, 식전<sup>\*</sup>이오닛가

14 벌치, 먹었습니다

15 당신은, 식후<sup>\*</sup>시오닛가

16 나는, 아즉, 안이먹었습니다

17 <sup>\*</sup>덤심진지를, 좀가지고갑시오

18 오늘은, 토요일이니, 안가지고가겏소

19 귀덕먹고, 쓰오너라

20 밥을, 일즉먹고, 단여야한다

11 오늘은, 늦도록, 일을할터이니, 밤참으로,  
국수장국을하시오

朝飯が出来たら、私の膳も持つて来い

御飯をお上がりなさい

熱い「熱冷」<sup>スゲニユン</sup>を持つて来い

(音字は飯を釜よりとりたるあとへ)  
水を注ぎ掻き交ぜたるものなり)

御飯が済んだから、膳を片付けよ

未だ御飯前ですか

(「식전」は朝飯前のみ用ふ)

疾うに食べました

あなたは、御飯がお済みですか

(식후は食後の意味なるも夕方の挨拶にも用ひらる)

私はまだ食べません

お晝に食べるものを少し持つて行きなさい

今日は土曜日ですから持つて行きません

夕飯を食べて又来い

早く飯を食べて、出勤しなければならぬ

今日は遅くまで仕事をしますから、夜食に「국

수장국」を拵へなさい

- 22 요사이는, 해가쌀으니, 두썸(두외)만 먹어  
도, 좃습니다
- 23 시장하지, 안을가요
- 24 북천지방사람은, 조밥(좁쌀밥)을<sup>\*</sup>상식한다  
하오
- 25 남천지방에는, 보리밥을먹는사람이<sup>\*</sup>만소
- 26 증천지방사람들은, 팟밥을, 질겨하오
- 27 부스들은, 혼이, 입쌀밥(솔밥, 혼밥)을<sup>\*</sup>먹  
소
- 28 가난한사람은, 죽도쓰어먹기가, 어렵다하오
- 29 오히들은, 콩밥을, 조화하오
- 30 이곳에서<sup>\*</sup>도, 오횄밥을, 지여먹음닛가
- 31 네, 지여먹지요, 혼이, 청월보름날, 지여<sup>\*</sup>먹  
습니다
- 32 찰밥도, 잘지여노흐면, 좃치마는, 너무<sup>\*</sup>만히

(「子今장子」は素麵に色)  
(々のものを入れたるもの)

此の頃は日が短いから、二度(二食)食べる丈  
けでも結構です

腹が減らぬでせうか

北鮮地方の人は、粟飯を常食にするそうです

南鮮地方には麥飯を食べる人が多いです

中鮮地方の人達は、小豆飯を好みます

金持の人達は、多く、米飯を食べます

(何も交ぜざる米の飯をいふ)

貧乏な人は、粥かゆを炊いて食べることも困難ださ  
うです

子供達は、大豆飯をすきます

此處でも、五穀飯を炊いて食べますか

はい拵へて食べます、普通、正月十五日に炊い  
て食べます

糯米の飯も、よく炊いてあるこ、よいものです

藥食*	普通、無常時	33	약식* (약밥) 은, 인제 먹읍닛가
冷水*		34	약식은, 보통쌈* (무상시쌈)* 에는, 아니해먹고, 잔치쌈에나, 하지요
泄瀉*		35	닝수한그릇, 못주시겟소
淨*		36	찬물을먹으면, 설사를하기쉬우니, 더운물을잡수시오
干醬、代身*		37	이불은, 청한물이냐
土醬*		38	네, 그것은, 먹는물이올시다
生鮮、傷*		39	이긴장* (장) 은, 냄새가나니, 간장대신에, 소금을, 좀가귀오시오
本來*		40	토장* (된장) 국으려, 맛봅시다
		41	오래간만에, 곰국을으려, 먹읍시다
		42	이성천* 은, 비린내가, 몹시나니, 상하지는안앗소
		43	상한것이아니라, 본리* , 비린성천이올시다
		44	이밤이, 쉬었나보다, 먹지말아

가, 餘り多く食べるものではありません  
藥飯は何時食べますか  
藥飯は、普通の時には拵へません、宴會の時なごに拵へます  
お冷水一杯下さいませんでせうか  
生水を飲むこ、下痢をし易いから、お湯をお飲みなさい  
此の水は奇麗な水か  
はい、それは飲料水でございます  
此の醬油は臭いから、醬油の代りに、鹽を少し持つて來なさい  
味噌汁を拵へて食べませう  
久し振りに、薩摩汁を拵へて食べませう  
この魚は、腥い香が酷くするが、腐つたのではないですか  
腐つたのではなく、元來腥い魚でございます  
この飯は腐つたらしい、食べてはいけない

45 이고기가, 씹었는지, 냄새가, 언완소  
46 요새, 고기는, 어름에, 채여두어야하오

藥酒  
47 약주한잔잡수시오

48 잘먹겠습니다

未安  
49 안주가, 아모것도업치시, 미안하오

千萬  
50 킨만에말씀이올시다

51 맛이, 엇더합닛가, 입에마즈스는지요

52 맛, 좃습니다

53 만히, 잡수시오

54 술은, 잘, 못먹습니다

辭讓  
55 그러케, 사양치마시고, 또한잔잡수시오

56 아모것도, 잡수실것이, 업치시, 도로혀주인

未安  
된, 마음에, 미안합니다

57 이리케, 대접을, 잘하시니, 대단히, 감사합

感謝  
니다

此の牛肉は腐つたかして、香がよくありません  
此の頃は、肉類は氷に冷やして置かなければな  
りません

お酒を一杯お上りなさい

御馳走になります

肴が何にもありませんで、お氣の毒です

いいえごう致しまして

味は如何ですか、お口に合ひますかしら

味は上等です

澤山お上り下さい

酒は澤山飲めません

そんなに遠慮なさらしないで、もう一杯お上りな

さい

何にも、お上りになるものがなくて、却つて主

人として、お氣の毒です

斯様に御丁寧な御饗應で、有難うございます

新清酒、藥酒  
 燒酒  
 貌様  
 過夏酒  
 合酒  
 酒幕、濁酒  
 老兄、不酒客  
 非酒客、甘酒  
 滓糠、母酒

- 58 술을, 데여오오  
 59 술이, 좀, 차구려  
 60 어렵지만은, 좀약근하게, 데여오시오  
 61 술맛이, 대단, 식식하고, 좃소  
 62 이신청주(약주)를, 언케, 썻소  
 63 그그적게, 썻습니 다만은, 술맛이 조와시, 얼  
 :마남지아니하고, 다 팔냈습니 다  
 64 이집, 쇼주맛도, 좃트니  
 65 그래요, 술을 잘 당근 모양이 애요, 언젠가, 와  
 시, 과하주를, 먹어본일이잇섯는데, 그술맛  
 도 좃트는데요  
 66 술을, 잘 못먹는 사람도, 합주술은, 잘 먹소  
 67 주막(술집)에 들어가, 막걸니(락주, 락박  
 이) 한자 먹고가썻  
 68 로형은, 부주익(비주익)이니, 감주나 자시오  
 69 재강을, 걸니, 모주(무주)로 팔고, 지게미

酒を爛して來なさい

酒が少しぬるいですね

御面倒ですが、少し熱く爛して來て下さい

酒の味が、非常に芳醇でおいしいです

この新酒は、何時濾したのですか

一昨々日濾したのですが味がい、ので、大方残

りなく、皆賣れて仕舞ひました

この家の燒酒の味もよかつたが

そうです、上手に酒を造る様です、何時か來て過

夏酒(燒酎)と清酒とを和して醸したるもの)を飲

んで見たところがあるがその酒の味も結構でした

酒をよく飲めない人も、合酒(糯米の濁酒)は

よく飲みます

宿屋(酒屋)へ寄つて濁酒を一杯やつて行かう

(朝鮮の田舎にては宿屋は酒屋を兼業す)

あなたは下戸ですから、甘酒でもお上りなさい

酒の粕を漉して、母酒(糟汁)にして賣り、そ



는、도야지를、택이오

70 포도주、한명만、사오너라

71 녀름에는、픽쥬「썬」가、미상불<sup>\*</sup>쫓소

72 처양술(위스키)도、매우、<sup>\*</sup>독합되다

73 배갈을、과히、먹으면、외브러치오

74 이것은、<sup>\*</sup>후쥬국이라、맹블과、달음이업소

75 이술은、매우、<sup>\*</sup>준합니다그려

76 쥬국을셔셔、되린것이올시다

77 기생이、<sup>\*</sup>권쥬가를하면셔、<sup>\*</sup>숨을권하오

78 쥬석에서、<sup>\*</sup>쥬딩하는사람은、<sup>\*</sup>보기실소

79 <sup>\*</sup>쥬비로오는잔이니、<sup>\*</sup>어셔밖으시오

80 커사람은、<sup>\*</sup>쥬량이커셔、술을、<sup>\*</sup>고래갓치먹는외

81 닭으로、사람들이、<sup>\*</sup>쥬태라고、<sup>\*</sup>별명을지엿소

82 자고나니、<sup>\*</sup>속취미성일체

83 <sup>\*</sup>독한약쥬를、<sup>\*</sup>과히、<sup>\*</sup>자시면、<sup>\*</sup>몸에해됨소

83 <sup>\*</sup>공복에、<sup>\*</sup>술을먹엇더니、<sup>\*</sup>대단히취하였소

れを又搾つた滓は、豚に喰はせませ

葡萄酒を一本だけ買つて來い

夏は麥酒に限ります

洋酒(ウイスキー)も甚だきついものです

支那酒をあまり飲むと、氣を失ふことがありま

す

此は二番酒で、生水も同様です

この酒は、非常に濃いですね

酒母を濾して上げたのです

妓生が勸酒歌を歌ひながら酒を勧めます

酒の席で管巻く人は嫌です

廻つて來た盃ですから、早くお受けなさい

彼の人は、酒量が多くて、鯨のやうに飲むもの

だから、人達が上戸に<sup>あなた</sup>綽名をつけました

起きて見ると、まだ二日酔が醒めて居らぬわい

きついお酒を、餘り上がる、お身に障ります

空腹に酒を飲んだら非常に酔ひました

米國、禁酒令

危殆

苦草醬

- 84 미국에서는, 금주령을, 냐다하오
- 85 고기는, 잘씹어 먹어야, 맛이 좃소
- 86 고기를, 날것으로 (날노) 먹으면, 위태하니  
구어 먹어라
- 87 엇기름이, 만히잇스니, 엇을, 고아 먹읍시다
- 88 식해 (단술, 단밥) 도, 당거 먹읍시다
- 89 목이 켄켄하니, 식해에, 술을 타서, 가키 오너  
라
- 90 그나들은, 삶어서, 먹는 것이오
- 91 싱취삼은, 여름한철에, 먹을 만하지요
- 92 취삼이 든지, 싱취삼이 든지, 피마주삼이 든지,  
다, 고초장이, 조화야, 삼맛이, 나지요
- 93 짐장애에, 배추삼도, 먹을 만하지요

アメリカでは、禁酒令を出したそうです  
牛肉は、よく噛み締めなくちや、味が出ません  
牛肉を生で食べるこ、危険だから、焼いて食べ  
ろ

麥芽が澤山あるから、飴を拵へて食べませう  
甘酒も拵へて飲みませう

咽喉がからくに乾いてるから、甘酒に蜂蜜を  
わつて持つて來い

その野菜は煮て食べるのです

蒿苳ちさに飯を包んで食べるのは、夏分は結構なも  
のです

香蔬 (俗に馬蹄草) でも、蒿苳でも、草麻子で  
も、皆唐辛味噌がよくなければ、おいしくあり  
ません

(삼は野菜の葉に飯を包みて食するものをいふ)

冬の漬物を漬ける時分に、白菜で包んだ飯もよ  
いものです

- 94 승김취 (시금취) 나물은, 단맛이, 잇치시, 참:쫄소
- 95 산나물은, 조곰, 쓴맛이잇치, 안되엿소
- 96 산:치는, 봄새, 먹을만하오
- 97 미나리나물도, 잘못치노흐면, 맛이:쫄습니다
- 98 나물:에:초를, 너무, 너:엇드니, 몹시, 시오
- 99 비추김치는, 먹을만하나, 마늘:내가, 괴약하오
- 100 김치:에, 마늘과, 고:초를:너야, 단맛이나오
- 101 김치가, 맛은:조흐나, 미운:외닭으로, 못먹겠소
- 102 그러면, 장김치를, 가:켜올가요
- 103 등:침:이가, 잇습닛가

菠稜草ほうれんそうは、甘味があつて、實に結構です

「サンナムル」は、少し苦味にがみがあつていけません

ん(산나물은早春色々の木の芽をとりて食するものを謂ふ)

「山菜」は、春先き食べるには、結構なものです

(산치는산나물에等し)

芹も、よく合味あひへるこ、おいしいものです

野菜に、酢を餘り入れ過ぎたら、馬鹿にすつば

いです

白菜の漬物は結構だが、蒜にんにくの香がいけません

漬物に、蒜や唐辛を入れなければ、甘い味が出

ません

朝鮮の漬物は、おいしいけれども、辛いので食

べられません

そんなら『醬油漬け』を持つて來ませうか

「トンチミ」(一種の大根漬)がありますか

甚<sup>\*</sup>至於

日<sup>\*</sup>常

104 귀는, 통김치라든지, 삭독이라든지, 장맛지

며, 심<sup>\*</sup>지어, 찬지갓흔것도, 잘먹습니다

105 그러나, 찬지는, 우려야, 먹읍니다

배추속썬국이, 좃치요

106 당신은, 국을, 조화하십닛가

무슨국을, 조화하십닛가

107 맑은장국은, 일<sup>\*</sup>상먹어도, 들너지안습니다

108 토란국, 콩나물국갓튼것도, 잘, 잡수시겟습

109 니다그려

110 이국들은, 너무뜨거우니, 조금, 식혀주시오

111 독, 알맛습니다, 너무식으면, 기름이칩니다

112 맛이승거우니, 간장을, 취시잡수시오

113 국맛이, 승거우니, 간을맛치시오

114 차도안코, 승접지도안아셔 (간이알마커셔)

115 잘먹엇소

私は白菜の丸漬でも、淺漬でも、福神漬や澤庵

のやうなものでも、よく食べます

然し澤庵は水出しにしないミ食へません

白菜の心芽の汁は、おいしいものです

あなたは、汁が好きですか

何の汁が好きですか

醬油汁(牛肉、大根、昆布、葱)は、何時食べても

飽きません

里芋汁、もし汁のやうなもの、よくお喫りに

なるでせうね

この汁は、餘り熱いから、少しさまして下さい

丁度いい加減です、あまりさめたら、脂肪が浮

きます

不鹹いから醬油を注してお上がりなさい

お汁が不鹹いから、加減をなさい

鹹くも不鹹くもなく(加減が丁度よくて)お

いしく戴きました

\*産母、蘇復

\*民魚

\*道味、膾

\*撕腸、療飢

\*十錢

\*告祀

\*寒食、秋夕、  
名節、松餠

\*色、婚姻

116 \*산모는, 메역국으로, 소복하오

117 \*민어국도, 먹을만하오

118 \*도미국수보담, 도미회가 좃소

119 배가 곱하니 (시장하니) 무엇이든지, 요괴할  
것이 잇소

120

여괴는, 떡밭게, 업습니다

121 그것이라도 조하니, 십권어치만, 사다 주시오

122 김치국물을, 잠수시고, 떡을 잠수시오

123 떡집에 가서, 시루를 비려 오너라

124 : 설에 쓸 혼떡을, 좀 맛춤시다

125 인철미도, 맞추시 람닛가

126 나는, 경단을 먹겿소

127 \*고스에는, 시루떡과, 빅설기를, 씹니다

128 \*한식과, 추석명철에는, 송편을, 쓰오

129 잔채집에 서는, 가진편을, 쓰오

130 \*식떡은, 혼인색에, 쓰오

産婦は、わかめ汁で肥立ちます

鯽の汁もおいしいものです

「鯛麵」よりも、鯛の刺身がおいしいです

腹が空いたが(ひもじいが)何か食べるものがありますか

此處には、餅しかありません

それでも宜いから、十錢だけ買つて来て下さい

漬物の汁を飲みながら、餅をお上がりなさい

餅屋へ往つて、蒸籠せいろうを借りて來い

お正月に使ふ白餅を少し注文しませう

餅もお誂へになりますか

私は黄粉餅きんごを戴きます

棟上には、團子や搔餅を使ひます

寒食や、秋夕の節には、松餅を使ひます

(송편は蒸籠に松の葉を入れ蒸したる餅)

お祝のある家では、各種の餅を使ひます

色餅は婚禮の時に使ひます

冬至  
來日、各其、  
點心

不安、念慮  
未安

飯饌

養齒\*

- 131 동지팥죽에, 새알심을, 너허먹소
- 132 리일은, 산에갈터이니, 쇠각김(각기)덤심  
을, 가지고오시오
- 133 리일아침은, 우리집이서, 차릴터이오니, 아  
모것도업스나, 와주시기를바랍니다
- 134 불안합니다, 념려하지마시오
- 135 입에, 맛지아니하실가해서, 도로혀, 미안합  
니다
- 136 맛은업스나, 만히잡수시오
- 137 터, 먹을수업시, 만히먹엇습니다
- 138 반찬이, 업서서, 안되엇습니다
- 139 이에서, 엇지, 터하실수잇습닛가
- 140 그만, 상을치여, 주십시오
- 141 이상을, 처고, 양치들을가적오너라
- 142 잘, 먹고, 갑니다

第七節 飲 食

冬至の小豆粥に、團子を入れて食べます  
明日は山に行きますから、各自晝飯を持つてお  
出でなさい

明日の朝飯は、私の家で準備致しますから、何  
もありませんが、お出で下さる様にお願ひ致し  
ます

それはお氣の毒です御心配下さいますな  
お口に合はぬかも知れませんが、却つてお氣  
の毒です

おいしくはありませんが、澤山お喫り下さい

もう食べられぬ程、澤山頂きました

お副食かづがありませんで、お氣の毒です

これ以上さうして出来るものですか(これ以上  
結構な御馳走はありません)

もうお膳をお下げください

このお膳を片付けて、嗽水うがひを持つて來い

よく食べて歸へります(御馳走になりました)

\*宴會  
朝鮮料理、明月館、飲食

\*西洋料理、待接

\*内地人、招待  
靜養軒、日本料理

\*清料理  
崔主事、祭祀

\*舍廊

\*玉食

\*葛粉

143 오늘、연회는、어디서、할까요

144 \*도선요리로는、\*명월관집음식이、\*가장\*  
\*적\*소

145 \*도선호텔\*노가서、\*쇠양요리\*를、\*대접\*합시다

146 \*내\*디인들、\*초대\*하는것이니、\*청양현\*으로가서  
\*일본요리\*를、\*잡수\*하게합시다

147 \*아니\*올시다、\*그\*어른은、\*청요리\*를조화합니다  
148 \*최\*주스집에서는、\*오늘\*밤、\*최\*스를지낸다합디  
다

149 \*그러\*면、\*우리\*집사랑에서、\*놀\*다가、\*느\*직해셔

150 \*비\*빔밤을、\*엇\*어먹으러、\*갑\*시다  
\*옥\*식을、\*홀\*녀셔는、\*안\*된다  
151 \*콩\*죽을、\*쓰\*웠스니、\*좀\*、\*자\*시오

152 \*너\*는、\*몸\*이\*아\*프하니、\*조\*미음을、\*먹\*어라

153 \*갈\*분\*양\*이를、\*쓰\*어、\*주\*시오

今日の宴會は、ここでやりませうか

朝鮮料理では、明月館の料理が、一番よろしいです

朝鮮ホテルへ行つて、西洋料理を御馳走しませう

内地人を招待するのだから、靜養軒へ行つて、和食を上げることにしませう

い、え、あの方は、支那料理が好きです  
崔主事の家では、今夜お祭(先祖の祭祀)があるさうです

それでは私の舍廊(客室)で遊んで、晩くなつてから、五目飯を食ひに行きませう

白い御飯を、こぼしちゃいけないよ  
豆粥をこしらえましたから、少しお上がりなさい

い

お前は病氣だから、栗の重湯を飲め

葛湯をこしらへて下さい

家親、還甲、  
藥酒

慶祝

仕退

中、感謝

別床

飲食

平壤、名産、  
有名、甘紅露

毒

麵\*

154 리일은, 가친의, 환갑날이온대, 약주나 디리

고쳐하오니, 오시기를, 바랍니다

155 그릇습닛가, 매우, 경축하시겟습니다

그려면, 어는해, 가오릿가

156 스투하시는길에, 들너십시오

157 밧부신중, 이최림와주시니, 대단히감사합니

다

158 손님상을, 어치가커오니라

159 별노, 차린것은, 업습니다

160 :처음보는, 음식이, 만히잇습니다

161 이술은, 평양명산으로, 유명한, 감홍로을시

다, 한잔드십시오

162 매우, 독하지오

163 좀독하지요만은, 취한뒤에:죇습니다

이것은, 무엇이오닛가

164 국수(면)라하는것이을시다

明日は、父の還曆の祝ですが、お酒なりさ差上

げたいと思ひますから、お出でを願ひます

さうですか、それはお目出度うございます

それでは、何時に上がりませうか

役所から、お退けの途中に、お寄り下さい

お忙しい所を、こんなにお出で下さつて、誠に

有難うございます

お客様の膳を、早く持つて來い

格別準備致したものはありません(何もありません)

せん)

珍らしいお料理が澤山ございます

この酒は、平壤の名産で、有名な甘紅露(藥を

入れた焼酎)でございます、一杯お上りなさい

非常にきついでせう

少しきついでですが、酔ひ心地がようございます

之は何で御座いますか

素麵といふものでございます



片肉、醋醬  
水卵

法\*

菓子

藥菓、茶食、  
散子

神仙爐

上等料理

別味、別食

- 167 엿더케, 먹는것이오
- 168 편육에, 초장늘, 쇠어서, 너어먹기도하고,  
수란을너어서, 먹기도하오
- 169 이떡을, 잠수어보십시오  
먹는법을, 가르쳐주소
- 170 술을쇠어서, 먹지요
- 171 이것은, 과스와, 갓흔것이오닛가
- 172 일음을, 다, 가르쳐, 주소
- 173 이것은, 약과, 다식, 강청, 빈스과, 산스라  
합니다
- 174 무엇으로, 맨든것이오
- 175 술, 기름, 밀가루, 찹쌀들노, 맨든것인데,  
술에, 반죽하여, 기름에, 지진것이올시다
- 176 이것은, 신선로(구스)라하는것인데, 맛도  
조흔것아니라, 상등요리에는, 반다시, 이것  
아, 잇서야합니다
- 177 참, 별미(별식)을시다그려

さうして食べるのですか

片肉に、醋醬油をつけたのを、入れて食べたり

水卵(鶏卵を割りて)を入れて、食べたりします

この餅を食べてごらんなさい

食べ方を教へて下さい

蜜をつけて食べるのです

これは菓子と同じものですか

名前を皆教へて下さい

之は藥菓、茶食、カンヂヨン、散子といふもの  
です

何で拵へたのですか

蜜、油、麥粉、糯米などで拵へたのですが、蜜

で練つて、油で揚げたものです

これは、神仙爐に云ふものですが、味もおいし

いばかりでなく、上等の料理には、必ずこれが

なければならぬものです

本當に珍らしい御馳走ですね

本當に珍らしい御馳走ですね

藥酒  
本來、勸

179 약주나, 더, 잠수십시오  
180 나는, 본리, 술을, 만히 먹지 못하니, 너무 권  
하지 마시요

하

181 그리케, 취하지는 아니 하셨습니다

182 안주를, 더, 가 꼭 오너라

183 그만 철상합니다

184 양치할, 죄구를 가 귀 오너라

185 오늘은, 진수청찬(만반진수)를, 포각(포  
식) 하얏습니다

186 변々치아 이한음식을, 잠수시라 해시, 도로혀

항송합니다

187 춘부장예, 비알치 못하고 가시, 죄송합니다

\* 春府丈、拜謁  
罪悚

### 第八節 家屋・家具

1 조선집은, 웨, 이리케 낫소

2 어한하기를, 주장하야, 집을, 건축하는 외담

\* 禦寒、建築

酒なりこ、もつこお上りなさい

私は、元來來酒は澤山飲めませんから、餘りお  
勧め下さいますな

そんなに酔つては、いらつしやいません

酒の肴をもつこ持つて來い

もうお膳をお下げ下さい

含嗽の道具を持つて來い

今日は、山海の珍味を、十分いただきます

つまらぬものを、お勧めして、却つて恐縮でし

た

お父様へ、お挨拶も申し上げずに歸へつて、甚

だ恐縮でございます

朝鮮の家屋は、何故こんなに低いですか

防寒を主として、家屋の建築するからであります

\*城內、人家、稠密、戸

\*草家、蓋瓦、便

\*富者

\*二層

\*大闕、外、法

\*關係

\*崔書房、孔巡査

\*左右、商店、商塵

이오

3 이성내에는, 인가가, 조밀한듯하니, 몇호나  
되오

4 호수가, 칠백호나 됩니다 (삼니다)

5 초가집과 개와집이, 어느편이 많습닛가

6 부자가, 만흔외담으로, 큰개와집이 만치요

7 죄이층집은, 누집이요

8 그것은류변호사의집이요

9 이천에는, 대궐외에는, 이층집을, 못짓는법

이더니, 지금은, 누구던지, 돈만잇스면, 마  
음대로, 지여도관계업소

10 옷집은, 벽돌집이고, 아릿집은, 돌집이요

11 이웃집사람은, 다, 썩자는사람들이오

12 뒷집 (넘엇집) 최처방과, 압집공순사를, 불  
너오너라

13 건너집가서, 누구던지, 좀오라고하여라

14 길좌우에, 상덤 (상던) 이, 만히느러잇스니

す

この城内は、人家が稠密して居るやうですが、  
何戸位ありますか

戸數は七百戸位あります

藁家と瓦家と、どちらの方が多いですか

金持が多いので、大きい瓦家が多いです

あの二階家は誰の家ですか

あれは柳辯護士の家です

以前は、皇居以外には、二階家を造れない規定

だつたが、只今は、誰でも、金さへあれば、勝  
手に造つて差支ありません

上の家は煉瓦建てで、下の家は石造です

隣の家の人は、皆立派な人達です

12 後の家の崔君と、前の家の孔巡査を、呼んで來  
い

向ふの家へ行つて、誰か一寸呼んで來て呉れ

道路の左右に、商店が澤山列んで居るが、この

第一、繁華

家屋\*

甲富、巨富、有名、金判書亭子

別莊\*

水石\*

福德房、議論

土地家屋、仲介、都會處

家僧\*

15 이거리가, 데일변화한곳이요  
적산밋헤, 큰집이잇스니, 뉘가옥이요

16 이고을갑부(거부)로, 유명한김판서의집뎡  
즈올시다

17 그별장러는, 경치가조와보이오

18 가보면, 슈척도쫓치오

19 집한치를샷스면, 쫓켓는디, 엇더케하면, 조  
홀가요

20 그것은, 복덕방에가시, 의론하시는것이, 쫓  
켓습니다

21 복덕방이란, 무엇하는데오닛가

22 토디가옥증개하는곳인데, 큰도회처가아니면  
업습니다

23 집하나살터이니, 보여주시요

24 처가, 가괘올시다

通りが一番賑な所ですか

あの山の麓に、大きな家がありますが、誰の家  
ですか

この郡の一番の金持で有名な、金判書の家の別  
荘でございます(判書は古の大臣なり)

あの別荘のある處は、景色が好ささうですね  
行つて見るこ、庭石も面白いです

家を一軒買つたら、好からうと思ひますが、ご  
んなにしたらよいでせうか

それは、福德房に行つて、相談なさるのがよい  
でせう

福德房に云ふのは、何をする所ですか

土地家屋を周旋する處ですが、大きな都會地  
なければありません

家を一買ひたいから、見せて下さい

手前が家僧でございます

(家僧は家屋の周旋人なり)

間數\*

25 맞침, 한집이잇스니, 가시보십시오

26 이집간수가, 얼마나되오

上下\*

27 안채만, 상하채를합하여, 스물다섯간이고,

이외에, 밧갓치, 일곱간잇습니다

大廳\*

28 옷채는, 안쌍이삼간, 대청(마루)이여섯간

건넌방이이간, 부엌이두간, 광이간반잇니다

中門間\*

29 아리척는, 방마루가삼간, 광이삼간, 헛간이  
두간, 증문간과, 뒤안이, 두간반이올시다

舍廊, 大門, 行廊\*

30 밧갓치는, 사랑이다섯간, 대문항랑이, 한간

씩이올시다

壁櫥\*

31 벽장과, 다락도잇소

半寢\*

32 다잇습니다, 반침도잇고, 골방도잇습니다

每間\*

33 이집갑슨, 매간에얼마요

丁度一軒ありますから、往つて見ませう

此の家の間數が、幾ら許りありますか

(二間は内地の約二疊半の廣さなり)

内屋だけ上下合はせて二十五間、此の外、外屋

七間あります

上屋は内房が三間、大廳(板間)が六間、越房

が二間、臺所が二間、物置が一間半あります

下屋は、部屋の板間が三間、物置(戸あるもの)

が三間、物置(戸なきもの)が二間、中門と便

所が二間半でございます

外屋は客室が五間、表門と長屋が一間宛で御座

います

押入や「タラク」もありますか

(「다락」は臺所の上部に設け  
たる二階の如き物置なり)

皆あります「半寢」もあり、奥の間もあります

(「半寢」は部屋の一隅に簞笥を  
置くために造りたる押入なり)

此の家の値段は、一間幾らですか

\*四百圓、三百七十圓、興成

\*家垓坪數

\*決定

\*七十坪、假量

\*近來、地價、高騰、中央、商業地

\*每坪

\*落價

34 달나기는, 한간에 소비원식이라 하나, 한삼백

칠십원이면, 흥성(흥청)이 되겠습니다

35 가대평수는, 얼마되오

36 일백삼십오평칠홑오작이올시다

37 이집은, 식로지여쳐, 드롭고, 여름이라도,

쉬원하겠스나, 평수가좀적으니, 다른집을,

몇개본후에, 결정합시다

38 케가환하게압니다, 이집보다, 더조흔집은업

습니다, 이담너머에, 뵈터가칠십평가량이잇

스니, 그것을사십시요그러

39 그양은, 한평에, 얼마면사겟소

40 근리, 디외가, 고등하야켓슬연아니라, 이곳

은, 처을중앙이요, 상업디로유명한곳이라,

미평에이백원식은, 주어야됩니다

41 넘어갑시빗사니, 일백팔십원식에, 락가하도

록, 말하야보시요

42 그리히보지요

云ひ値は、一間かん四百圓云つて居ますか、まあ

三百七十圓ならば、相談が出来ると思ひます

屋敷の坪數は、幾らありますか

百三十五坪七合五勺でございます

此の家は新しく、高くて、夏でも涼しいそうだ

が、坪數が一寸少いから、他の家を二三軒見た

上で決定しませう

私が精しく知つて居ります、此の家よりもよい

のはありません、此の垣の向ふ側に、空地が七

十坪位ありますから、それをお買ひなさい

その土地は、一坪幾ら位なら買へますか

近來地價が上がつた許りでなく、此處は京城の

中央でありますし、商業地として有名な所です

から、一坪二百圓は出さなければなりません

餘り値段が高いから、百八十圓宛にまけるよや

うに、話して見て下さい

そう致して見ませう

契約金

口錢、口文

家券、文書

移轉登記手續

移舍、搬移、限

修理、役事、木手

募軍

土

板塙

客室

43 매미계약을합시다

44 계약금은, 千圓만내겟소

45 구천\* (구문) 을낭는, 짐잡칠을적에, 내리다

46 가련\* (집문쳐) 을뵈여달나하시요

47 이천\* 등괴수속을, 속히하야가지고오시요

49 이달열을에, 이사\* (반이) 를하겟스니, 한\*에

꼭, 내여노히시요

49 짐수리\* (역스) 를하겟스니, 미장이와, 목슈

를볼너오너라

50 모군\* (모군운) 도, 볼너와야하겟습니다

51 토답\* 이문어지라하니, 돈이들드래도, 이번에

는, 돌답을차아주지요

52 압답은, 벽돌답으로하시고, 뒤답은, 판장\*을

하십시요

53 \*크실압해잇는, 개나리올라리는, 그냥두시요

54 저쪽답을헐고, 뒷문을내주시요

賣買契約をしませう

手附金は、千圓だけ出しませう

口錢は、家の代價を拂ふ時に出しませう

家屋の證券を見せて呉れよ云つて下さい

移轉の登記手續を急いでして來て下さい

今月の十日に引越をするから、期限には、必ず

明けて下さい

家の修繕をするから、左官と大工を呼んで來い

人夫も呼んで來なければなりませんですね

土塙が崩れかゝつて居りますから、お金がかゝ

つても、今度は石垣を築いて下さい

前の塙は、煉瓦塙にし、後の塙は、板塙にしな

さい

さい

客間の前にある、連翹の生籬は、その儘にして

置きなさい

向ふの塙を崩して、裏門を造つて下さい





窓戸紙

특거은창호지를바르고, 들기름을택여노흐면, 참, 방안이밝어죠택치요

68 들창문은, 크게할필요가, 업습니다

69 툇마두는, 넓게하시요

瑠璃窓

70 복도에는, 유리창을달아주시요

柱礎

71 주초돌과, 섬돌은, 다, 화강석으로, 하야주시요

시요

簷下

72 툇하웃이길면, 집안이컴々하니, 너무길게할

遮陽

필요는업고, 차양도, 헐신, 들어달아주시요

亭子

73 연못가운대잇는덩즈집웅에는, 이영을남혀주시요, 용마루(용마름)는, 석, 잘들여야,

貌樣

모양이날걸

塔\*

74 커연못가에, 대리석으로, 탑을하나민드려,

りなさい、そうして、厚い障子紙を貼つて、荏胡麻の油を塗つて置けば、本當に部屋が明くてよいです

高窓(壁の上部にある小さい窓)は、大きくする必要がありません

椽側は廣くしなさい  
廊下には、硝子窓をつけて下さい

土臺石や沓脫石は、みな花崗石で造つて下さい

簷が長いと、家の中が暗いから、餘り長くする必要はない、遮陽(突出し)もずつと上げて、

取付けて下さい

池の中にある亭子には「イヨング」(屋根を葺く爲に編んだ藁)を葺いて下さい、「ヨンマルウ」

(屋根の中央を蓋ふ編藁)は、餘程上手に編まぬと見つこもないて

あの池の邊に、大理石で、塔を一つ造つて立て

淨、掃除

세웁시다

75 도벽장이를 불너오고, 풀을쑤어라

76 반즈 (천장) 바르기가, 띄우어엿소

77 집안팎을, 청하게, 소제하여라

78 비를갓다가, 뜰 (마당) 을, 잘쓸어라

79 마루의예는, 슈체미로, 문질너, 닦거버리고

홀쳐라

移舍

80 이샤집을 옮기겟스니, 짐꾼 (삭꾼) 을, 열만 불너오너라

足

便利

81 「구루마」는, 다섯치만잇스면, 족하겠소

82 길이조흐니, 짐마차가편리하겠습니다

83 자네도와쳐, 일꾼을, 좀감독해주소

84 삭꾼을, 미리청해두게

定\* 饌穢、卓子櫥 三層櫥

85 뒤주, 찬장, 락스장이며, 삼층장, 의거리, 반다지갓흔, 무거운집은, 짐마차에실게

86 장독들은, 「구루마」에 잘실고, 조심해가게

操心

ませう

經師야를呼んで來て、糊を煮れ

天井を貼るのが、甚だむつかしいです

家の内外を奇麗に掃除せよ

箒を持つて來て、庭を奇麗に掃け

板の間についた垢は「タワシ」でこすつて、洗

ひ落して仕舞へ

引越の荷物を運ぶんだから、人夫を十人ばかり

呼んで來い

荷車は、五臺許りあれば間に合ふでせう

道が好いから、荷馬車が便利だらうと思ひます

君も來て、人夫を監督して呉れ給へ

賃錢を豫め定めて置け

米櫃、饌穢、卓子櫥や三層櫥、衣桁 (衣架) 簞

笥のやうな、重い荷物は、荷馬車に積め

醬油瓮等は、荷車にうまく積んで、氣を付けて

行け

世間

椽\*

櫃、砂器、瑠璃、操心

茶鍾、酒煎子

門牌、懸板、簇子

册床、交椅  
四方卓子、文匣、體鏡

87 자네는, 부엌외간을지는데, 솥, 가마솥, 냄비, 풍노늘을지게

88 이, 이부자리는, 보에산치로, 날너가거라

89 이궤속에는, 사궤와유리그릇이, 잔뜩들었스니, 조심하여가지고가게

90 이것은, 차종과, 주천즈들이니, 흔들너지안케, 잘, 이고가게

91 문궤와현궤은, 잘떼고, 족스는것어노아라

92 인케는, 가궤궤것이업습닛가

93 다음겨갓스니, 문을궤궤고가게

94 열쇠는, 나를주게

95 날이어두었스나, 쇠간을, 바로잡아노아야하겟소

96 책상과, 교의를바로노아라

97 사방락스며, 문궤이며, 헤경도, 다, 잘먼지

お前は、臺所道具を脊負ふんだが、釜や大釜や鍋や七輪を脊負つて呉れ

此の夜具は、風呂敷に包んだ儘で、運んで行け

此の箱の中には、瀬戸物や硝子器が、一杯這入つて居るから、氣をつけて、持つて行きなさい

これは、湯呑や鐵瓶なごだから、がたくしな様に、しつかり頭に載せて往け

門札や額は、ちやんこはづして、掛物は巻いて置け

もう持つて往くものは、御座いませんか

皆運んで仕舞つたから、表門に錠をおろして行かう

錠は僕に呉れ給へ

日が暮れたが、道具を片付けて置かなければなりません

机や椅子を眞つ直ぐに置け

四方卓子や、置箱や、鏡臺も、皆よく塵を拂つ

房席\*  
長枕、木枕、  
按席

平床、兒孩

沙鉢、鍾子、  
饌穢

瓶\*

木板\*

를 덮고 흠척라

98 방석과, 보도도, 깔, 덮어다가, 알아노아라

99 장침과 목침은, 이리모아노코, 안석은, 쪼리

노아라

100 좀실러이니, 마투를올치고, 돛자리를펴라

101 평상우에, 돛자리를알지요, 마루는, \*해들

이, 물을엄질너서, 안안합니다

102 사발, 대접, 덩시, 종즈, 보시기, 바라기갓

흔것은, 찬장에너시오

103 술병\*, 유리병들과, 쪼고만한항아리는, 아리

락스장에, 보기죇케, 넣어노으시오

104 용충항아리는, 뒤주우에, 언커노시오

105 목관, 합지반, 소반은, 시렁과, 천반에언커

てよく拭け

座蒲團や長座蒲團も、よく拂つて、敷いて置け

長枕(長方形の脇息)や木枕は、こちらへ纏め

て置いて、按席(後方に据へて寄りかゝるもの)

はあちらへ置け

暫く休むから、板の間を拭いて、莫莖を敷け

平床(寢床の一種)の上に莫莖を敷きませう、

板の間は、子供等が水をこぼして、ぬれて居ます

沙鉢、大椀(汁の食器)、皿、鍾子(醬油を入れ

る猪口)、「ポシキ」(漬物を盛る小鉢)、「バラキ」

(鉢の一種)のやうなものは、饌穢へしまひな

さい

酒瓶、硝子瓶なごや、小さな壺は、卓子穢の下

の棚に、奇麗にならべて置きなさい

「ヨンヂュンハンアリ」(龍を畫いた壺)は米櫃

の上に戴せて置きなさい

木板(四角形の盤)や割鉢や膳は、棚か「ソン

두시요

106 열박아지는, 벽에, 못을박고, 걸어노으시요

107 분합은, 여러케치시, 갈고리에, 거시요

燈臺、燭臺

108 등잔 (초대) 을갓다가, 불켜라

火爐

109 화로에, 불이업스니, 솥을피여오게

火箸

110 화치가락과, 부삽과, 인두를차커다가, 화로  
에쇼자노아라

111 옷의귀김살을, 펼쳐이니, 다리미를가커오너  
라

112 담배를가커오고, 지씨리틀, 내노아라

113 벼루집을열고, 붓을쇼너오너라

114 붓치를갓다가놋고, 발을것어라

115 장철함에, 권인블썩리가들엇스니, 가커오너  
라

卷煙

라

116 병풍을것고, 몬지를떨어라

屏風

バン」(棚の一種)の上に載せて置きなさい

「ヨルバカチ」(瓢箪を二つに割つて造つた柄

杓)は、壁に釘を打つて、懸けて置きなさい

部しどろ(開けて上に  
吊るす障子)は開け放して、鉤かぎに懸けて置き

なさい

燭臺を持つて來て、火をこもせ

火鉢に火がないから、炭火を起してお出で

火箸こ十能こて鏝こてを探して來て、火鉢に挿してお

け

着物の皺をのばすんだから、火熨斗を持つて來

い

煙草を持つて來て、灰落を出して置け

硯箱をあけて、筆を出して來い

團扇(或は扇子)を持つて來て置き、簾を卷け

簞笥の引出に、卷煙草のパイプが入つて居るか

ら持つて來い

屏風を疊んで、ほこりを拂へ

房帳\* 煙氣\*

117 방장도, 것이서, 벗혀쪼여라  
118 방안에, 담배연기가, 자욱하니, 미다지를 열

어, 연기를 뽑아라

119 노끈 (노끈) 을 싹갓스니, 종이 (조히) 와

참칼 (칼) 이든지, 가위를 가져오너라

120 쌀너줄을 밀러이니, 묵과, 장도리를 차켜주게

121 창문을 열러이니, 송곳을 갖다주게

122 부청슈도제에 가시, 슈도를 대달나고, 청원하

廳門\* 府廳, 水道係  
請願

고오시오

電氣會社, 十六燭\*

123 煙氣會社에 가시, 십륙축연등, 열여섯기만, 달아달나하시요

124 「메돌」 계량을 넘시다

計量器\* 洋\*

125 두레박과 양동이, 구둑이 들어켜시, 물이 새니, 션가게에 가시, 빼오너라

126 독기가 두되니, 대장간에 가시고 가시, 버려오

너라

房帳 (室内に張る幕) も取つて、日に曝せ

室内に、煙草の煙が籠つて居るから、障子を開

けて、煙を抜け

紙撚を撚るんだから、紙ミ小刀か鋏を持つて來

い

洗濯物を干す繩を張るんだから、釘ミ金槌を探

して呉れ

障子の紐を通すんだから、錐を持つて來て呉れ

府廳の水道係へ行つて、水道を取付けるやうに

手續して下さい

電氣會社に行つて、十六燭の電燈十六個だけ、

つけて呉れるやうに行つて下さい

メートル計量器を取付ませう

釣瓶やバケツが、穴が明いて、水が漏るから、

鋏力屋へ行つて、つけて貰つて來い

斧が切れないから、鍛冶屋へ持つて行つて、及

をつけて來い

鑪器\*

127 유괴그릇에, 녹이낫스니, 닦거라

眞鑪の器に、錆が出来たから磨け

128 식칼을, 솥돌에, 갈아다오

食刀を砥石でこいで呉れ

沐浴、桶\*

129 오늘날터덕에, 목욕을할터이니, 목욕통에, 갖  
득히, 물을길어붓고, 불을써여라

今晚は湯に入るから、風呂桶に一杯水を汲んで  
火をたけ

130 이쌀을, 키로, 칭하게외블너라

此の米を箕で奇麗に振るへ

131 떡방아를질터이니, 절구쌍이 (쇠쌍이) 와,  
절구를가커오너라

餅を作る粉を搗くのだから、杵(鐵の杵)と臼  
を持つて來い

132 너는, 떡가루를, 첩로치라

お前は米の粉を篩ふるひでふるへ

133 나는, 시루에, 떡가루를안치겟다

僕は「シルー」(陶器製の蒸籠せいろう)に餅の粉を入れ  
やう

第九節 時日・時期

時方\*

1 시방, 멧시나되엇느냐

今何時頃か

午前、上午\*

2 오컨 (상오) 열한시이십오분이올시다

午前十一時二十五分でございます

午砲\*

3 좀잇스면, 오편을뚝켓구나

少し立つと午砲が鳴るんだな

4 오시 (칭오) 가되엇스니, 덜심준비를하여주  
시오

正午ひるになつたから、晝飯の用意をして下さい

午時、正午、  
點心、準備

暫間、暫時、  
暫時間、令監

今方

午後

時間

時計

午鐘

十分

日氣

5 잠간 (잠시, 잠시간) 만, 기다려주시오, 령

감이들어오시거든, 함께잡수시게하겠습니

6 언케 (어느썬) 쓸, 들어오신단말이오

7 금방, 도라오신다는:던화가, 왔습니

8 오후네시반에, 볼일이잇스니, 그썬에, 나의

게알녀주시오

9 시간이, 거진, 다되었습니

10 멧시란말이나

11 시로, 네시이십분이올시다

12 그시계는, 할신, 더가는구나

13 네시계는, 녀덥맞게안되었

14 아니을시다, 그시계가, 튼냈습니, 이시계

는, 오종에맞춧습니

15 그러면, 십분맞게남지안앗구나, 어서, 가보

아야하겠

16 요사이, 일기가, 매우춧습니

暫くお待ち下さい、旦那様がお歸りになつたら

御一緒に召上がれるやうに致しませう

何時頃、お歸りになるこ云ふんですか

只今、直ぐお歸りになるこ云ふ電話が、か、つ

て來ました

午後四時半に、用事があるから、其時分に、私

に知らして下さい

もうそろ／＼時間になりました

何時だこいふのか

午後四時二十分で御座います

其の時計は、大變進んで居るね

僕の時計は、四時にしかなつて居ないよ

さうではありません、其の時計が違つて居るので

す、この時計は午砲に合はしてあります

それでは、十分しか残つて居ないね、早く行つ

て見なくちやならぬ

此頃氣候が大變寒うございます



近來、風勢

今番、旅行

日間、嶺南地

逗留

只今、數日間

滞在、作定

速、來月初生  
上旬頃  
上京、歸京

中旬頃

下旬

去番  
日前、湖南方面

17 근리、풍계가、심한연고올시다

18 금번(이번)에、어디、려헝가신다지요

19 네、일간、령남지방에가겠습니다

20 몇날(몇칠)이나(솨)、두류하시다오시겠습니다

닛가

21 가보아야알겠습니다、지금갓해서는、한수일

간、레지할작정이올시다

22 여러날、결니지안습시다그러

23 일이、속하게되기만하면、리월초싱(상순경)

에는、상경(귀경)하겠습니다

24 늦드라도、리월중순경에는、도라오실러임닛

가

25 클쨌요、혹하순경이될는지도、모르겠습니다

26 쨌쨌(거번)에는、어디를갓다으쨌든가요

27 일전에단녀온곳은、호남방면이올시다

この頃風がひきいからであります

今度何處か旅行なさるそうですね

はい、二三中に慶尙南北道に行かうと思ひます

何日位御滞在になつて、お歸りになりますか

行つて見なければなりません、只今の様子では

約五六日間滞在する豫定です

長くか、りませんですね

用事が、速く濟さみへすれば、來月の上旬頃に

は、上京(歸京)するつもりであります

(朝鮮にては首都に往くことも歸ることも上京といふ)

遅くとも、來月の中旬頃には、お歸りになりま

すか

そうですね、或は、下旬頃になるかも知れませ

ん

先日は何處へ往つていらつしやいましたか

先達行つて來た所は、湖南方面です

\*近者、地方民情、比

\*文化、進歩、百性、生活困難、如前

\*一般、勞働、神聖、自覺、生活難、免

\*後日、日後

\*中

\*公會堂

28 \*근자의 \*지방민정이, 이전에 \*비하여, \*엇더합니까

29 \*문화는, \*미우진보가 되었으나, \*백성의 \*생활은 \*난은, \*여전히 \*압박되다

30 \*아모써든지, \*일반이, \*로동은 \*신성 \*라고는, \*각 \*이상이지만 \*이하면, \*생활 \*난을, \*면치 \*못할 것이 \*요

31 \*후일 (\*일후) \*또 보 \*십시다

32 \*앗가, \*손님이 \*오셔서, \*한참, \*기다 \*리시다가, \*도라 \*가신지가, \*얼마 \*안 \*되었습 \*니다

33 \*나 \*종, \*또, \*오신 \*다드 \*냐

34 \*아 \*마, \*오늘 \*밤에, \*오신 \*다지 \*요

35 \*이 \*러케, \*밤 \*중에, \*일부 \*러, \*오 \*십 \*닛 \*가

36 \*밤 \*늦, \*빛 \*버 \*하시니, \*무 \*슨 \*볼 \*일이, \*그 \*리, \*만 \*습 \*닛 \*가

37 \*그 \*그 \*적 \*게, \*말 \*삼 \*한 \*거 \*와 \*갓 \*치, \*모 \*리 \*밤 \*에, \*공 \*회

近頃の地方の民情は、以前に比べて、さうでしたか

文化は、餘程進歩して居るが、人民の生活難は以前に變りがない様です

何時でも、一般の人が、勞働は神聖であること云ふ自覺が出来なければ、生活難は、免れる筈はありません

後日又お目にかゝりませう

先刻お客様がお出でになつて、暫くお待ちになつて居りましたが、つひ只今お歸りになりました

後で、又いらつしやること云はれたか

多分今晚お出でになること云つて居られましたこんな、夜遅く、態々お出で下すつたのですか夜書御多忙の様ですが、何の用事が、そんなに多いのですか

一昨々日御相談申し上げた様に、明後晚公會堂

音樂會

準備

別、終日

相關

山葉樂器店

交涉

舞臺

電燈裝置

大場氏、豫定

京城

平壤

安寧

失禮

册\*

당에서, 음악회를 할 터이오니, 리일은, 한나  
잘가량, 갖치, 준비를 해주셔야 하겠습니 다  
38 별노, 리일은, 불일이 업사오니, 종일 일지라  
도, 상관업습니 다

39 「피아노」는, 오늘밤에, 산악악기점에 가치,  
빌도록, 교섭하겠습니 다

40 무대는, 어케 (어척게) 꾸며놔놋다 지요

41 아즉, 던등장치를, 아니 하얏스닛가, 이것은  
리일밤에, 하라고합니 다

42 대장씨는, 하로밤만 지내시고, 가실예덩업닛  
가

43 그릿습니 다, 글피아침에, 경청을 갖치시, 평  
양으로, 가실것이 읍시 다

44 간밤에, 안녕히, 주무섯습닛가

45 어케밤에, 늦도록, 실례만히 하얏습니 다

46 이척을, 어느날 (어느날) 사왓느나

で音樂會を開く筈ですが、明日は半日程一緒に  
準備をして下さいませんか

別に、明日は用事がありませんから、終日でも  
構ひません

ピアノは、今晚山葉樂器店へ行つて、借りる様  
に交渉致しませう

舞臺は、昨日お造りになつたそうですね  
未だ、電燈裝置をしてありませんから、これは

明晩やらうと思ひます  
大場氏は、一と晩だけ泊つて、お歸りになる豫  
定ですか

そうです、明後々日の朝京城を経て、平壤へ行  
かれるのです

昨夜は、御機嫌よく、お休みになりましたか  
(早うございます)

昨夜は、晩くまで、大變失禮致しました  
この本は何日買つて來たか

空日\*

47 지난공일잇흔날이닛가, 이달초하룻날이올시  
다

この前の日曜ですから、今月の一日でございま  
す

日後、後際、  
許諾

48 그러면, 별시, 닷시나 되엇느냐

それでは、もう五日間位になつたのか

49 일후(후케)\* 부러는, 척을살지라도, 나의허  
락을맛하여야한다

今度からは、本を買ふにしても、私の許しを受  
けなければならぬぞ

後日、命

50 후일(후날)\* 부러는, 명대로하겠습니다

今後はお指圖通りに致します

名日、名節

51 오늘은, 명닐(명절)\* 이니, 잘쉬여라

今日は祭日だから、ゆつくり休め

花草\*

52 이화초에는, 날마다들늘주어라

この草花には、毎日水をやれ

53 물만갈주면, 나날이, 잘자랄것이다

水さへよくやれば、日に日に大きくなるよ

54 시달에는, 썩치피겟지요

來月は花が咲くでせう

新聞\*

55 신문잡슬, 달마다, 밋으러오느냐

新聞代を毎月取りに来るか

56 아니올시다, 식달치를, 함세밋어갑니다

そうではありません、三月分を纏めて頂戴します

來月、來々月  
合

57 지난달(몬크달)\* 치와, 이달치만, 밋어가고

先月分と今月分だけ拂ふから、來月分は、再來

리월치는, 리리월치와, 합하여야닛겟다

月分と、一緒に出すことにしよう

相關、關係

58 그리케주셔도, 상관(관계)\* 업습니다

さういふ風に、お拂ひ下さつても、差支ありま  
せん

外上\*

59 이달외상은, 이듬달에, 주시렵닛가

今月の掛けは、翌月に下さいますんですか

冊曆、閏月

陰曆

今年

陽曆、閏年、上年、去年、昨年

再昨年

學年

五學年

明年、來年、後明年、再明年、卒業

實果

昭和三年

偶然、果然

60 달력(曆)을 좀 보아라, 윤달(潤月)이,

어느 달인가 보아라

61 음력 오월이, 윤달이 올시다

62 금년(今年)은, 미우, 더웁겠구나

63 양력 윤년은, 상년(去年, 昨年)이든가

64 그러케, 이즈섯습닛가, 작년이, 윤년이 지

요

65 금년에, 몇학년이 되었느냐

66 올해, 오학년이 되었습시다

67 명년(明年)에, 류학년이 되고, 후명년에,

(次명년) 졸업이로구나

68 키나무를 심고, 이듬해에, 거름을 만히 주어야

실과가 잘 여오

69 올은, 소화삼년이 올시다

70 오리간만에, 우연히 만나 보오니, 과연 반갑습

니다

71 우리가, 몇해전에, 뵈왔든가

曆をちよつと御覽、閏月は何月か見て御覽

舊の五月が閏月で御座います

今年は非常に暑いだらうな

陽曆の閏年は昨年だったかね

そんなにお忘れになったんですか、一昨年が閏

年でせう

今年何學年になつたか

今年五學年になりました

來年は六學年になつて、明後年は卒業だね

あの木を植えて、翌年肥料を澤山やらなければ

實がよくなりません

今年は昭和三年でございます

久し振りに、偶然お目に懸つて、誠に嬉しうご

ざいます

我々は、何年前にお目に懸りましたかね

七八年

72 칠팔년만에, 맛났습니다

七八年振りに遇ひました

73 못처럼맛났스니, 어디놀러갑시다

久し振りで遇ひましたから、何處か遊びに行きませう

事業、始作

74 이사업은, 언제시작하였소

この事業は何時始めたのですか

75 일곱해되였습니다

七年目になります

計畫、經營

76 몇해계획으로, 경영하십니까

何年計畫で經營して居ますか

二十年

77 한, 이십년결널것이올시다

約二十年かゝりませう

經費

78 그동안, 경비는, 얼마나쓰셨소

今まで、經費は、幾ら位かゝりましたか

事業擴張、年々、毎年、平均十五萬圓式

79 사업확장늘따라서, 년년히늘어갑시다만은, 미년, 평균오십만원식됩니다

事業の擴張に随ひまして、年々殖えて行きますが、毎年平均五十萬圓宛入ります

日常、汨沒

80 일상(들)골몰히, 지내시겠습니까

何時もお多忙でございませう

當身、明治

81 당신은, 명치몇년생이오

貴方は明治何年生れですか

82 스물다섯살이닛가, 삼십오년생이올시다

二十五歳だから三十五年生でございます

年歲

83 년체가, 미우뎡흥신듯하니, 얼마나되여계시오

大分お歳を召して在つしやる様ですが、お幾つですか

後年、進甲

84 후년이진갑이닛가, 지금예순살이되였습니다

明後年が、進甲ですから、只今六十歳であります(六十二歳を進甲といふ)

\* 歲月、如流 85 歲月流るゝ如くで、何時の間にか、頭が白くなりまして

\* 規約貯金 86 規約貯金は何月に皆済みますか  
再來月には済みます

\* 期限 87 期限は何月迄ですか  
再來月には済みます

\* 本月十日 88 本月十日迄が期限です  
何個月間勉強なさいましたか

\* 個月、工夫 89 個月間勉強なさいましたか  
三箇月間學びましたが、よく出来ません  
今日は何日ですか

\* 市内、各商店 90 市内の各商店では、年末の勘定に忙しいやうです  
\* 歳末、年末 91 十二月の晦日であります

\* 木曜日 92 明日は明日の翌日は何曜日ですか  
\* 木曜日 93 木曜日に當ります

\* 嚮者 94 先日お頼みした事は、明日中に出来るやうにして下さい  
95 多分明後日までかゝらなくては、出来ません

98 아따、모리까지는、하여야 되겠습니다

요

97 향자에, 부락한일은, 리일안으로, 되게하시

96 목요일이 됩니다

95 그글피는, 무슨요일인가요

94 고, 뱃분모양이요

93 \* 시내각상점에 서는, \* 연말 (년말) \* 처음하노라

92 \* 첫달금음날이 올시다

91 \* 오늘이, 몇칠이요

90 \* 몇개월동안, 공부하섯소

89 \* 본월십일까지가, 한이요

88 \* 귀한이, 어느달까지요

87 \* 리々월에는, 뭇치나겿소

86 \* 규약더금은, 어느달에, 다맞치오

近日、消日  
 每様、閑暇  
 時間  
 罷仕、仕退  
 始作  
 最初  
 狼狽  
 瞬息間  
 瞥眼間  
 種\*

- 99 요담、쉬는날(노는날)에는、아갓시집에、  
가보아라
- 100 :근일에는、무엇으로:쇼일하시오
- 101 잇다가、뒤에가면、계시겟소
- 102 밤에는、미양、한가합니다
- 103 리일、이맘때、또오시요
- 104 꼭、시간을직히시요
- 105 요사이도、오후네시에、와스(스퇴)하시요
- 106 터、느커쳐、나오는씨가:만소
- 107 몇시에:시작하오
- 108 오컨아홉시:반부터、시작하니、일즉오시요
- 109 최초에는、된다하더니、지금와서는、못하겠
- 110 다하니、랑피가:적지아나하오
- 110 :순식간에、업서:췌소
- 111 별안간에、괴덕소리가:나오
- 112 각금(종종)놀:나오시요

この次の休日には、叔父さんの所へ行つて見ろ

この頃は何をしてお暮らしですか

後刻お宅へ伺つたら、お在宅でせうか

夜分は何時も暇です

明日の今頃又お出でなさい

きつちり時間をお守りなさい

此頃も午後四時にお退ひけですか

もつと遅く退けることが多いです

何時に始めますか

午前九時半から、始めますから、早くお出でなさい

最初は出来ること云つて居たのに、今になつて出来ぬこといふから、損害が少なくありません

忽ちなくなりました

だしぬけに汽笛が鳴りました

こまごま遊びにお出で下さい



漸々

113 일기가, 점々땀뺏아야 오니, 조흔시절을 맛났 습니다

氣候が段々暖かになつて、よい時節になりました

第十節 身體・動作

正 舉止行動、端

活潑、教室、精神、工夫

正面

搖頭轉目、凶

操心

老人

法\*

1 : 거지 행동은, 단정히 가 귀야 한다

2 운동장에 서는, 활발히 놀고, 교실에 서는, 청신을 들여 서, 공부를 하여라

3 머리를 반드시가지고, 청면을, 똑바로 보아라

4 요두던목을 하며, 말을 하면, 남의게 흉잡히는 것이니, 조심하여라

5 : 노인들은, 머리에, 비듬이 만호닛가, 머리를

씩그면, 더욱 시원하고, 조졸것이 올시다

6 : 걸상을 압호로 당겨서, 김히 걸어안키라

7 : 얼다, 날어사라

8 : 이리와안즈시요

9 : 어른압해는, 무려안느범이다

舉止動作を正しくしなければならぬ

運動場では活潑に遊び、教室では精神を籠めて (一生懸命に) 勉強せよ

頭を眞直にして、正面を眞直に見よ

搖頭轉目(舉動の沈着ならざること)をしたり話をしたりするに、人に笑はれるから、氣を付けよ

老人達は、頭に雲脂が多いから、髪を切つたら

一層せい／＼して、好いだらうと思ひます

腰掛を前へ引いて、深く腰を掛けよ

速く立て

此處へ來てお坐りなさい

大人の前では、端坐するものだよ

方席、便

10 방석을 깔고, 편히 안저라\*

11 밧분싸는, 거름을, 속히 거러 단기시오

12 천々히 단기시오

13 신발을 끌고 단이면, 먼지가 난다

14 얼굴에, 먹이 못었스니, 쇠슈대야에, 물을 떠

가지고, 맑이 케시되라

無顔\*

15 왜, 무안을 보았느냐, 얼굴 빛치 못하다

暖爐\*

16 난로 옆에, 오래 잇섯더니, 낮이 월々(확 큰  
く) 달칩니다

17 머리카락이, 흐르러 커서, 보기 싫으니, 어머

니 더러, 머리를 빗겨 달라고 하여라

18 가리마를, 잘라 주시오

當身、潤達\*

19 당신은, 이마가 넓으니, 마음이 활달하시겠소\*

20 눈썹이, 외멋고, 옛부게 잘났소

兩眉間、所見  
意見\*

21 너는, 양미간이 넓으니, 소견(의견)이 넓겠

다

座蒲團を敷いて樂に坐れ

忙しい時は、歩みを早くして歩きなさい

ゆつくり歩きなさい

履物を引ずつて歩くこ、塵芥ほこりが立つよ

顔に墨がついて居るから、洗面器に水を汲んで

來て、奇麗に洗へ

さうしたのだ、恥づかしい目に逢うたのか、顔

が眞赤だよ

暖爐の傍に、長く居つた所が、顔がほかくほ

てります

頭髮かみが亂れて見憎いから、お母さんに梳すいて貰

へ

髮の眞中をよく分けて下さい

あなたは、額が廣いから、心が大きいでせう

眉毛が眞黒で、美しく生へて居ます

お前は、眉毛の間が廣いから、量見りやうけんが廣いだら

う

性\*

手巾\*

分明\*

瞳子\*

呼吸\*

養齒\*

22 귀사람은, 눈이가늘어서, 성미는외다름것스  
나, 마음은작々할것이다

23 눈썹이외엇스니, 슈건에외되라

24 눈알이맑으면, 총명하다하오

25 흰자위와, 거문자위가분명하오

26 등자가, 컷다적엇다하오

27 합흠을하엿더니, 눈볼이나오

28 코가맥혀쳐, 냄새를, 잘맛홀수가업소

29 콧마투가잡흐면, 성질이잇소

30 코가홀으니, 풀어버려라

31 입으로, 숨을쉬지말고, 코로쉬여라 (호흡하  
여라)

32 침을받지말고, 싱키시오

33 나는희고, 입살은붉다

34 입살이얇으니, 말을, 야불야불, 잘하겟다

35 양치질할썩에, 입안과, 나와, 혀를, 잘다가

あの人は、目が細いから、氣立ちはむつかしか  
らうが、心は優しいだらう

目脂がついて居るから、手拭で拭け

目玉が澄んで居るこ、聰明だそうです

白眼と黒眼が、はつきりして居ます

瞳子が、大きくなつたり、小さくなつたりしま  
す

欠伸をしたら涙が出ました

鼻が詰つて、臭をよく嗅ぐこが出来ません

鼻が高い人は氣が荒いです

鼻汁が出て居るから、かんで捨てよ

口で息をしないで、鼻で呼吸をせよ

唾を吐かないで呑みなさい

齒は白く唇は赤い

唇が薄いから、べちやくよく舌喋るだらう

含漱するこきに、口の中や齒や舌をよく磨かぬ

大砲\*

貴\*

傷\*

富骨\*

鬚髯\*

雨雷\*  
朝會、號令

36 대포\*는 옆에 잇섯드니, 귀가 먹々하오  
야, 입에서, 군내가나지안는다

37 이 사람은, 귀가 잘싱겨서, 귀히 되겠소

38 잘귀지를 읊여라, 귀청상할나

39 두뺨과, 아리릭살이, 만허서, 복청 (\*부골)

스럼게싱겠소

40 구레나룻은, 삭글지라도, 슈염은, 그냥두시

요

41 말은 전복을, 씹어 먹엇더니, 관자뼈가 압흐다

42 그 사람은, 광대뼈가 버밀고, 눈이, 불이 불이

할련아니라, 눈귀가 올라뵈허서, 미우사나 읊

게보이오

43 목이 굵어서, 큰 「가라」라야 맞습니다

44 목소리가, 우뢰갓치크오

45 당신이, 도회씨에, 호령을 불너주시오

こ、口から臭氣が出るぞ

大砲を打つ側に居つたら、耳がつんぽになりま  
した

此の人は、耳の恰好がよいから、出世するでせう  
用心して耳垢を取れ、鼓膜が破れるぞ

兩方の頬や下顎が肥えて、福の相(金持の相)  
を持つて居ます

頬ひげは剃つてもよいが、口ひげはその儘置き  
なさい

干し鮑あはびを嚼かつたら、顎の骨が痛い

あの人は、頬骨が出張つて、目が突出て居るば  
かりでなく、目尻が上つて、非常に氣が暴く見  
えます

頸が太くて、大きなカラーでなければ、合ひま  
せん

聲が雷のやうに大きい

あなたが朝會の時に號令をかけて下さい

46 억기를, 뒤로, 잡아당기시오

47 억기를잡지 (늘으지) 말어라

48 왼손 (바른손) 을드시오

49 돌 (돌링이) 을, 집어던지시오

50 팔뚝이, 굽어서, 팔힘이 쇠겟소

51 어룬이, 무엇을주시거든, 두손 (량슈) 으로

공손히뱃어라

52 이금지환 (가락지) 을, 손에얹쥐고가거라

53 손바닥에, 잔삼이만라

54 손톱과, 발톱을, 다, 청하게문질너라

55 엄지손가락으로, 늘너라

56 주먹을, 단々히쥐고, 힘늘써서, 밀어보아라

57 손목을잡아, 붓들어주어라

58 이돈주머니를, 손목에걸어라

59 팔을, 싹々치, 퍼라

60 거드람이에, 쇠보를써라

肩を後の方へ引きなさい

肩を壓しては不可ない

左手(右手)を擧げなさい

石を拾つて抛りなさい

臂が太いから、腕の力が強いでせう

目上の人が、何か下さつたら、兩手で叮嚀に受

けよ

この金の指環を、手にしつかり握つて、持つて

行け

掌に細い皺が多い

手の爪や足の爪を、皆奇麗に削りなさい

母指で壓へろ

拳を固く握つて、力を入れて、押し御覽

手首を攔んで支へてやれ

この巾着を手首にかけよ

腕を眞直に伸せ

脇に本抱みを抱へよ

婦人

革帶

老人

危殆

61 가슴에, 사마귀가잇소

62 가슴을펴시오

63 배가똥々하오

64 밥을만히먹엇더니, 배가불으오

65 배가나왓스니, 바지를치켜넘어라

66 부인들이, 애기의게, 컵을먹이노라고, 컵동  
을내노앗소

67 내허리는, 굽으니, 긴혁대를사시오

68 로인은, 혼이, 허리가굽으오

69 허구리를차지마라, 워티하다

70 오줌과똥은, 뒷간에가쉬누어라

71 이름을지쳐다가, 잡바컷드니, 불기착이압호  
오

72 내가김흐니, 바지를, 무릎우이외지, 것어야  
하오

73 다리가길어석, 길을잘가오

胸ほくらに黒子があります

胸を張りなさい

腹が太いです

御飯を澤山食べましたら、腹がふくれました

腹が出て居るから、袴ハチを上げて着なさい

婦人達が、赤ん坊に乳を飲ませる爲めに、乳房  
を出して居ます

僕の腰は太いから、長いバンドを買つて來なさい

老人は、大抵腰が曲つて居ります

横腹を蹴るな、危険だよ

小便や大便は、便所に行つてしろ

氷滑をして、尻餅を搗いたら、臀しりが痛みます

川が深いから、袴を膝の上まで、まくり上げな  
ければなりません

脚が長くて道をよく歩きます(健脚の意)

74 신발이 적어 서, 발이 부르러트소

75 티눈이 생겨 서 (백여 서) 발우락이 알흐오

76 몸에, 쌀이, 만히 흐르니, 마른 슈건으로, 씻

겨주시오

77 뼈가 단단 하오

78 죄사람은, 살이 찢을 썬 아니라, 힘줄이, 굵어

서, 괴운이 미우 셴니다

79 살이 옥갓치 희오

80 어케 밤에는, 우수운 땀을 우엇소

81 일은 아츰에, 링슈마찰을 하얏드니, 왼몸이 불

고, 약간 약간 더웁소

82 몸이 튼튼 하면, 청신 (괴운) 도듯소

83 너는, 머리를 숙이고, 무슨 생각을 하고 잇느냐

84 다른 격청 (근심) 은 업습니 다만은, 이번 박미돌

경주에, 엇지 하면, 이길 가고, 중리 합니 다

85 그 뒤 집아 들인가, 엇커면, 켜리케, 잘 성겼나

履物が小さくて、足に豆が出來ました

蛸が出來て、足の指が痛みます

身に汗が澤山出ましたから、乾いた手巾で拭い

て下さい

骨が堅い

あの人は、肥えて居るばかりでなく、血管が太

いから、力が甚だ強いです

肌が玉の様に白いです

昨晚は可笑しい夢を見ました

朝早く冷水摩擦をやつたら、全身が赤くなつて

ほかく暖いです

身が丈夫であれば、氣分もよいです

お前はうつむいて、何を考へて居るのか

他に心配はありませんが、今度の百米の競走に

さうしたら勝てるかこ、考へて居るのです

あれはごこの兒か知ら、さうしてあんなに容貌

\*精神、氣運  
\*生覺  
\*百米突競走、  
窮理

\*氣運  
\*玉

\*冷水摩擦

粉\*

關係\*

86 멧살이 되엿기에, 귀려케, 아청아청, 거러단  
기나노

87 지지난달에, 들이지나갓습니다

88 분을\*, 너무밭으면, 보기실소

89 거울을보시요, 무엇이 못엇소

90 늙으면, 즐음살히잡히오

91 머리가세는것은, 관계치아나하나, 대머리가  
되면, 참, 보기실소

92 좁흔데를을나가면, 숨이차오

93 귀가어두우니, 소리를크게하여, 말씀하시요

94 귀먹어리에는, 아모리, 목청이셔러지도록,

소리를질너도, 알아듯지못하오

95 그러나, 남의입, 병긋병긋하는것을보고, 눈

치는, 잘, 아는모양이오

96 귀먹어리는, 선경을잘하닛가, 우수을써가,

만소

97 목이말으니, 볼한그릇주시오

幾つになつたので、あんなに、ちよこちよこ歩  
くのですか

先々月誕生が濟みました

白粉おしろいをあまりつけるこ、見つこもないです

鏡を御覽なさい、何かくつ付いて居ます

歳を取るこ皺が寄ります

髪が白くなるのは、構はないが、禿頭になるの  
は、誠に見つこもないです

高い所へ登るこ息が切れます

耳が遠いから、聲を大きくして、お話しなさい

聾ぶんばには、いくら咽喉が裂ける程、聲をはりあげ

て云つても、聽えるものではありません

然し、人の口の動く有様を見て察することば、

よく察するやうです

聾は、さんちんかんなこをよく云ふから、可

笑しいこが多いです

咽喉が乾いたから水一杯下さい



急\*

98 물을급히마시시는, 물사레가, 들이기쉬우나  
천々히마시오

99 목이쉬여서, 노래를할수가엄소

100 이리와서, 몸을증주들너다오

101 이:로인을, 잘부축하여, 턱에되셔다가, 들여  
라

102 칼에베이섯소, 오른편이되여서, 미우불편하  
겅소

作亂\*

103 칼작난하지마라, 잘못하면, 손베기쉽다

104 다른사람압헤서, 트림을하면, 실례가되니,  
삼가야하오

105 쌀국질을, 너무하면, 지치니, 차를삼수시요

放氣\*

106 짓치기나거든, 손으로, 입을가리고하시요

107 사람압헤서, 방귀가나오면, 대단웃소렴소

水を急いで飲んで、噎むせび易いから、ゆつくり  
飲みなさい

聲が枯れて、歌を歌ふことが出来ません

此處へ来て、身からだを一寸揉もんで呉れれ(按摩して呉  
れ)

此の老人を、よく左右から腕を抱へて、お宅へ  
お連れ申して上げなさい

小刀で切つたんですか、右の方で嚙かぞ不便でせ  
う

小刀で悪戯するな、ひよつこするこ手を切るぞ  
他人ひとの前で噎おくひ氣きをするこ、失禮だから、慎まな  
ければなりません

しやつくりを餘りするこ、疲れますから、お茶  
をお喫りなさい

噎くしゃみが出たら、手で口を抑へてしなさい

人の前で屁へが出るこ、ほんこにきまりの悪わるい  
ものです

擾亂\*

從容\*

傳\*

暫間\*

眩氣症\*

108 줄나거든, 먼척, 누어자거라

109 더놀다가, 자갓습니다

110 다보섯거든, 이리주소

111 밧갓치요란하니, 웬일인가내다보아라

112 아히들이, 뛰놀고잇습니다

113 너무써들지말고, 증용히놀나고하여라

114 이척늘, 복동의의게, 천해주소

115 뒤로, 잠간비켜주소

116 이리올나와서, 쉬다가주소

117 누구를, 맛나려, 오섯습닛가, 안에 들어가보

118 시오

118 여기가엇지늡흔지, 밋홀너려다보니, 현괴증

119 이나오

119 최다 (몰나) 불만하게, 잘앗구나

120 천성님을뵈거든, 켈을하여라

121 기대서지말어라

122 죄아해가, 넘어섯스나, 이리켜주소

ねむいなら先きに寝ろ

もつこ遊んでから寝ます

皆御覽になつたら、こちらに下さい

外が騒がしいが何事か出て見ろ

子供達が、飛んだり躍はねたりして居ます

餘り騒がずに、靜かに遊ぶ様に云へ

この本を福童に届けて(渡して)下さい

後ろへ一寸退いて下さい

こちらへ上つて休んでからお出でなさい

誰に會ひにお出でになつたんですか、内房へ入

つて見なさい

此處は馬鹿に高いので、下の方を見おろすこ、

目まひがします

仰いで見る程(見違へる程)成長したな

先生にお目にかゝつたら、御辭儀をしろ

寄り掛つてはならん

あの兒が轉んだから、起してやれ

123 이즐을, 힘대로, 잡아단겨주소

124 :어룬하고, 갓치갈썬에는, 앉장늘서서가지말고, 뒤를달아가야한다

125 너는, 옷은얼골이씩보기쫘타

126 일상, 병긋병긋웃고잇소

127 눈썬을짓고, 영지를발나, 단장늘해서옛부터

128 할부로, 말하다가는, 씬맛고, 옥블러이니,

찰아리, 잠жат고잇거라

129 실수한후에, 아모리의를쓰고, 도라단여도,

속질:업소

130 급하니, 뛰여가서, 얼는가키오시요

131 발목을썬여서, 식흔식흔하고, 알흠니다

132 늦도록, 잠만자면, 게으름징이되여서, 못손

다

133 슈남이를, 좀나무렛드니, 도망을하얏스니,

잡아다가 (차키) 주소

この綱を力一杯引張つて下さい

目上の人と、一緒に歩くときには、先きに立つて行かないで、後に隨いて行かなければならぬ

お前は笑顔が非常によい

何時もにこ／＼笑つて居ます

眉を造り紅をつけて、化粧をしたので、美しい

猥りに話をしては、頬ぺたを打たれて、辱めを

受けるから、寧ろ黙つて居れ

仕損じてから、幾ら心配して、驅け廻つたこと

無駄です

急ぐんだから、跳んで行つて、早く持つて來な

さい

足首を挫いて、チク／＼痛みます

遅くまで寝て許り居ると、怠け者になつて駄目

だぞ

壽男を一寸叱責つたら、逃げて行つたから、捕

へて (探して) 來て下さい

日常\*

嚙脂、丹粧\*

辱\*

失手\*

急\*

壽男、逃亡\*

任意

134 이 사람을, 임의로(마음대로) 심부름을 식혀  
주시요

この人間を隨意に御使ひ下さい

手從

135 너는, 이 어른을, 잘들여라

お前はこの方のお手傳をよくして上げよ

果樹園、實果

136 과수원에가서, 실과를 따오시오

果樹園に行つて、果物を取つて來なさい

菊花

137 국화를씩거다가, 꽃병에 꽂아주시요

菊の花を折つて來て花瓶に挿して下さい

花盆

138 들의 풀을 뽑고, 화분은, 적리로, 옮겨노아라

庭の草をこつて、植木鉢は、あちらへ片付けて  
置け

奔走

139 매우분주하신 모양이니, 무슨일이잇습니까

大層お忙しさうですが、何事があるので御座い  
ますか

助力

140 내라도, 할일이면, 조력해드리리다

私でも出来る事なら手傳つて上げませう

閑暇

141 한가하시거든, 도와주시요

お暇でしたら手傳つて下さい

### 第十一節 旅行

地方、旅行

1 이번에는, 엇던디방에, 려행하십닛가

今度は、この地方に御旅行なさいますか

去年、西鮮地方、視察、南鮮地方、求景

2 : 거년에는, 쇠천디방을, 시찰하얏스닛가, 금년에는, 남천디방을, 구경하겟소

去年は西鮮地方を視察しましたから、今年は南鮮地方を見物しやうと思ひます

三南

3 요사이는, 려행하시기조흔대, 더구나, 삼남

此の頃は旅行によい時節ですが、殊に三南のや

과갓치, 땀뺀한곳을, 가시닛가, 미우춍켓습  
니다

4 어느날, 떠나십닛가

5 모레, 최대급힝털차를라고, 출발하겠습니다

\*最大急行列車  
出發

\*京城驛、餞送

6 떠나시는날, 경성역으로, 나가셔, 천송하겠  
습니다

\*千萬

7 천만에요, 밧부신데, 나오실것업습니다

\*行裝、準備

8 힝장을, 다 준비하얏느냐

\*衣服、重要、  
書類

9 의복은 「노랑우」에넛고, 중요한서류는, 손  
가방에너얏습니다

\*時間、人力車

10 시간이되얏스니, 인력거, 한치를불너올가요

\*電車、速

11 고만두어라, 던차를라고, 가는것이, 속하더라

12 집은, 엇더케하얏느냐

\*行廊

13 무거운집은, 힝랑아범에게지여셔, 벌셔보내

うな暖い所に行かれるので、一層宜しうござい  
ませう

何日御出發なさいますか

明後日最大急行列車に乗つて、立たうと思ひま  
す

御出立の日は、京城驛へ出て、お見送致しませ  
う

さう致しまして、お忙しいのに、お出下さるには  
及びません

仕度がもう出来たか

着物はトランクに入れ、重要な書類は、手提鞆  
に入れて置きました

時間になりましたから、人力車一臺呼んで來ま  
せうか

それには及ばぬ、電車に乗つて行く方が速いよ  
荷物はどうしたか

重い荷物は、下男に脊負はせて、もう出しまし

停車場  
速、學校

衛生、注意

驛、區域、電  
車票、張

停留場、遷々

汽車票

車票

二等車票

急行券

入場券

手荷物、物票

14 엇스닛가, 덩거장에가서, 기다릴것이을시다  
속히다녀올터이니, 너의들은, 다학교에잘단  
거리

15 더구나, 위성에, 주의하여라

16 여긔서, 여긔지한구역이니, 면차표를, 한장  
만사면되겟다

17 벌서, 경성역앞등류장에닷구나, 천천히나림  
시다

18 솜니외지가는, 외차표한장주시오

19 몇등차표오닛가

20 이등차표를주시오

21 쓰담힝권한장주시오

22 「아외보」를볼을것엄시, 네가, 입장권을,  
사가지고 「쓰랑우」를들고, 들어오너라

23 죄큰집은, 슈하물로붓치고, 물표를타오너라

たから、停車場へ行つて、待つて居る筈です  
直き歸へつて來るから、お前達は皆よく學校へ  
通はなくちやならぬ

格別衛生に注意しないよ、不可ないよ

此處から驛まで、一區だから、電車切符は一枚  
だけ買へば宜しい

もう京城驛前停留場に着いたね、徐ろく降り  
ませう

裡里までの切符を一枚下さい

(裡里の正音は리리なれど多くは舍りと讀む)

何等切符でございますか

二等の切符を下さい

それから急行券一枚下さい

赤帽を呼ばんでも、お前が入場券を買つて、ト

ランクを持つて這入つて來い

あの大きな荷物は、手荷物として預けてチツキ  
を貰つて來い

24 표썩는 사람이, 나와썩스니, 느려썩십시오

25 너는, 커리로먼커들어가썩, 자리를, 맛타노

아라

李昌周氏

26 썩긔, 리창썩썩가, 나오썩습니다

27 어되게시냐

28 썩썩 「썩랏도홍」에게십시오

29 언썩, 나오썩나

惶悚

30 야, 먼테, 일부러, 오썩썩, 황송합니다

千萬

31 천만의, 말썩이올시다

32 집은맛기썩습닛가

下人

33 네, 하인더러, 맛기라고하얏습니다

34 시간이되엿스니, 어썩하십시오

時間

35 그러면, 작별하십시오

作別

36 평안히, 갑시오

平安

37 안녕히, 계십시오

改札する人が、来て立つて居ますから、お列びなさい

お前は、彼處から先きに入つて、席をこつて置け

向ふから、李昌周さんが、お出でになりました

何處に居られるか

向ふ側のプラットホームに居られます

何時お出でになつたかね

やー遠いのに態々お出で下さつて、恐縮でございます

い、え、さう致しまして

荷物はお預けになりましたか

はい、下男に預けさせました

時間になりましたから、速くお乗りなさい

それでは、お別れ致しますせう(失禮致します)

御機嫌よくお出でなさい

御機嫌よくいらつしやい

裡里、益山郡  
守、安否

太田

湖南線

滋味

釜山

内地人、旅館  
富士旅館、淨  
潔、親切

稍遠

38 리리가시거든、익산군슈에게、안부천하야주  
시오

39 여귀가어딤닛가

40 래천이올시다

41 죄는、여귀석、호남천으로、박구어、타야하  
겟습니다

42 여러가지로、즈미잇는、이야기를、드리셔、

심심치안엇습니다

43 부산까지、가시면、지리하시겟습니다

44 죄는、더구나、차멸미를합니다

45 그것、안되얏습니다그려

46 그러면、또뵈겟습니다

47 여귀、내디인려관중、똑똑한곳이、어디요

48 부스러관이란데가、데일딩결도하고、친철도  
합니다

49 그리、멀지안소

50 좀、초원합니다

裡里に行かれたら、益山郡守に、よろしくおつ  
しやつて下さい

此處はここですか

大田でございます

私は此處で、湖南線へ、乗換へなければなりま  
せん

色々面白いお話を伺つて、退屈致しませんでし  
た

釜山まで行かれるには、御退屈でせう

私はおまけに汽車に酔ひます

それはいけませんですね

それでは又お目に懸ります

此處で、内地人旅館で、いゝ處は何處ですか

富士旅館云ふ所が、一番清潔であり、親切で  
あります

そんなに遠くありませんか

少し遠うございます



市街自動車

51 시가스동차가잇습닛가

市街自動車がありますか

52 잇고말고요

ありますとも

53 스동차착은, 얼맘닛가

自動車賃は幾らですか

市内、遠近

54 시내면, 원근업시, 한사람압해, 삼십원이을  
시다

市内ならば、遠近に拘はらず、一人前參拾錢で  
ございます

運轉手、朝鮮

55 운던슈는, 도쿄사람이오닛가

運轉手は朝鮮人ですか

56 내디인운던슈도, 만히잇습니다

内地人の運轉手も澤山居ります

57 어되로가람닛가

何處どちらへやりませうか

58 부스려관에, 대여주시오

富士旅館へ着けて下さい

59 이, 스동차는, 타기가, 좃소구려

この自動車は、乗り心地がい、ですな  
もしく一寸お尋ね致します

60 여보, 말좀무릅시다

はい、ごんなここですか

61 네, 무슨말씀이오

郡廳はごちちから参りますか

62 군청을, 어되로, 가오

この道をまつすぐ行つて、突き當りの處で御座  
います

63 이길을, 굿든길노가시면, 마조치는집입니다

\*感謝

64 감사합니다

有難う御座います

\*郡守官舎

65 군서관사는, 어되가요

郡守官舎はどこですか

仔細、郡廳

來日、全州、  
輕便鐵道

自動車、利用  
時間經濟

別、差

會社、猛烈

競争

毎日、往復

番

車

午前

66 척는、스체히물느깃습니다、아마、군청이웃

이라고합되다

67 리일은、전주를갈터인데、경편철도를、라는

것이엇더합닛가

68 스동차들、리용하시는것이、시간경제가될것

이올시다

69 삭은、엇더합닛가

70 별노、차가업습니다

71 엇컨외답인가요

72 스동차회사에서、경편철도와、땡렬히、경정

하는외답이지요

73 스동차가、미닐몇번이나、왕복합닛가

74 열암은번이나합니다

75 첫차가、몇시에、떠남닛가

76 오전여덟시에、떠남니다

77 리닐첫차로、전주에갈터이니、스동차들、이

려관으로、대여달나하시오

私はよく存じません、確か郡廳の隣だ云つて  
居ました

明日は、全州へ行かうと思ひますが、輕便鐵道  
に乗るのがどうでせうか

自動車を御利用なさる方が、時間の經濟になる  
でせう

賃金はどうですか

別段差はありません

どうした譯ですか

自動車會社が、輕便鐵道を、猛烈に競争して居  
るからです

自動車が毎日何度位往復しますか

十回位往復します

一番が何時に出ますか

午前八時に出ます

明日一番で、全州へ行きますから、自動車をこ  
の旅館へ廻はして呉れるように、言つて下さい

點心、後、村

78 :<sup>\*</sup>점심먹은후에, <sup>\*</sup>촌에갈터이니, 말한필볼너다

주시오

馬房、遲滯

79 여귀식, <sup>\*</sup>마방이머닛가, <sup>\*</sup>좀지체되겟습니다

葛山面

80 <sup>\*</sup>갈산면외지갈터이니, <sup>\*</sup>삭시얼마냐

每十里

81 <sup>\*</sup>미십리에, <sup>\*</sup>삼십천씩주시오

過、來往

82 <sup>\*</sup>너무, <sup>\*</sup>과하다, <sup>\*</sup>리왕에, <sup>\*</sup>다, <sup>\*</sup>탈터이니, <sup>\*</sup>십리에, <sup>\*</sup>이십오천씩하자

83 <sup>\*</sup>그려십시요

馬夫

84 <sup>\*</sup>마부야, <sup>\*</sup>길을, <sup>\*</sup>갈무리가거라

念慮、近處

85 <sup>\*</sup>념려마십시오, <sup>\*</sup>이근처길은, <sup>\*</sup>환히압니다

86 <sup>\*</sup>나루가, <sup>\*</sup>잇습니다

87 <sup>\*</sup>나루비가, <sup>\*</sup>잇느냐

沙工

88 <sup>\*</sup>비는잇습니다만은, <sup>\*</sup>빗사공이, <sup>\*</sup>업습니다

89 <sup>\*</sup>빗사람을, <sup>\*</sup>얼는볼너라

90 <sup>\*</sup>빗삭이, <sup>\*</sup>모도, <sup>\*</sup>얼마냐

晝飯を濟ましてから、田舎へ参りますから、馬

一匹呼んで来て下さい

此處から、馬宿が遠いから、少々遅れるだらう

ご思ひます

葛山面まで行くんだか、賃金はいくらか

一里參拾錢宛下さい

餘り高いぞ、往復共乗るから、一里貳拾五錢に

しよう(朝鮮の十里は内地の約一里)

そう致しませう

おい馬方、路をよく聞いて行けよ

御心配なさいますな、この邊の路はすつかり分

つて居ます

渡しがあります

渡船があるか

船はありますが、船頭が居りません

船頭を早く呼べ

船賃が皆で幾らか

分

酒幕、盡

邑内\*

91 한분<sup>\*</sup>압해, 오견식이고, 말한필에는, 심오견  
을밧습니다

92 이쥬막<sup>\*</sup>에셔, 술한잔<sup>\*</sup>먹어라

93 적지를, 넘어가야, 갈산면이나

94 아니올시다, 그런지를, 셋이나, 넘어가야합  
니다

95 그러케, 멀단밭이나

96 쥬올내<sup>\*</sup>에셔, 팔십리닛가, 하로길이올시다

97 그러면, 쉬지말고, 부즈런히, 가자

98 벌셔, 날이, 적볼엇구나

99 말이, 잘걸어셔, 속히와합니다

100 쥬한쥬막을, 차켜들어가자

101 하로밤, 자고가겏소

102 네, 줌으시고갑시오

103 어되로, 드러가릿가

104 적방으로, 들어갑시오

御一人前五錢宛で、馬一匹十五錢載きます

この宿屋で酒一杯飲め

あの峠を越す葛山面なのか

い、え、あんな峠を、三つも越さなければなり  
ません

そんなに遠いのか

全州邑内から、八里ですから、一日路でござい  
ます

そんなら、休まないで、一生懸命行かう

もう日が暮れたな

馬がよく歩いたので、速く着きました

奇麗な宿屋を探して泊らう

一晚泊つて行きませう

はい、泊つてお出でなさい

ここにはい入りませうか

あの部屋にお入りなさい

105 이방은, 더러우니, 청한방을, 따로, 하나치  
여주시오

106 그러면, 좌방은, 엇덧습닛가

107 방이차니, 볼을써여주시오

108 네, 그리하겠습니다

109 리일아침에, 일즉셔날터이니, 밤을, 일즉지  
여주시오

110 네, 그리하겠습니다

111 밥갑시, 얼마요

112 한상에, 오십견식이닛가, 일원이올시다

113 일원밖으시오, 을소

114 네, 올습니다

115 말에게, 죽을, 만히먹었나

116 만히먹엇습니다

117 안장이빅이데, 이담표를알게

118 스원은, 마삭이고, 일원은슬갑시니, 오원밖  
어가게

この部屋は汚いから、奇麗な部屋を、別に一つ  
明けて下さい

それでは、あの部屋は如何ですか

部屋が冷いから、火を炊いて下さい

はい承知致しました

明朝早く立ちますから、御飯を早く拵へて下さ  
い

い

はい畏まりました

宿賃が幾らですか

一食五拾錢宛ですから一圓でございます

一圓あげます、い、ですか

はい確かに

馬に馬秣まぐさを充分食はせたか

澤山喰はせました

鞍が痛かつたよ、この毛布を敷いて呉れ

四圓は馬賃で、一圓は酒代だ、五圓やらう

鞍あし裝ま

床とこ

手<sup>\*</sup>苦<sup>\*</sup> 麗<sup>\*</sup>水<sup>\*</sup>、船<sup>\*</sup>便  
 船<sup>\*</sup>價  
 路<sup>\*</sup>資<sup>\*</sup>(旅<sup>\*</sup>費)  
 船<sup>\*</sup>室  
 輪<sup>\*</sup>船<sup>\*</sup>、汽<sup>\*</sup>笛  
 群<sup>\*</sup>山<sup>\*</sup>、汽<sup>\*</sup>船  
 木<sup>\*</sup>浦<sup>\*</sup>、港<sup>\*</sup>口  
 乘<sup>\*</sup>客  
 釜<sup>\*</sup>山<sup>\*</sup>、陸<sup>\*</sup>路  
 順<sup>\*</sup>路<sup>\*</sup>、水<sup>\*</sup>路

119 고맙습니다  
 120 미우, 슈고하얏네  
 121 려슈가는, 천편이잇소  
 122 오늘밤, 아홉시에, 잇습니다  
 123 천가가, 얼마요  
 124 일등은, 오일륙십천이올시다  
 125 로즈(러비)를, 다쳐가니, 이등을타지요  
 126 이등도, 천실은, 훌륭합니다  
 127 룬천의괴덕소리가나니, 어되서온비오닛가  
 128 군산서온비를시다, 이괴천을타실것이올시다  
 129 천창에나가, 보실가요  
 130 이목포항구도, 좃습니다구려  
 131 승익이, 만흔모양이올시다  
 132 여괴서, 부산을가라면, 룬로로가는것이, 순로오닛가, 슈로로가는것이, 순로오닛가

有難うございます  
 御苦勞だつたね  
 麗水行きの船がありますか  
 今晚九時にあります  
 船賃がいくらですか  
 一等は五圓六拾錢で御座います  
 旅費が少なくなつて來たから、二等に乗りませう  
 二等でも船室は立派でございます  
 汽船の汽笛が鳴つて居ますが、何處から來た船  
 ですか  
 群山から來た船です、この汽船にお乗りになる  
 のです  
 棧橋に出で見ませうか  
 この木浦の港もよいですね  
 乗客が多い様ですね  
 此處から釜山へ行くには、陸を行くのが順路で  
 すか、それとも、水路で行くのが順路ですか